

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6110010B6	先史考古学特論 I	宮路 淳子	人文科学系	前期 木曜日 5・6時限 教員研究室	演習	1年次以上	2時間	2単位	博士論文を作成する準備として、自らの研究テーマとする考古資料および関連する主要論文を選び、発表・討論を行う。テーマについて先行する研究を学び、学史の整理および問題設定を行い、自らのテーマ（その問題について何を明らかにしたいのか）をより明確にする。
6110020B6	先史考古学特論 II	宮路 淳子	人文科学系	後期 木曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	博士論文を作成するため、自らの研究テーマとする考古資料について発表・討論を行う。研究テーマについての視座を先鋭化し研究を深める。
6110030E6	歴史考古学特論 I	神野 恵	客員教員	前期 その他 その他 奈良文化財研究所	複合	1年次以上	2時間	2単位	歴史考古学の対象として、飛鳥時代から近世にいたる土器、陶磁器、土製品について、実際の遺物を教材に講義をおこなう。縄文時代以降、現代に至るまで、土器・土製品は人間の生活に必要な不可欠な道具である。そのため、遺跡から普遍的に出土する土器は、遺構の年代を決めるうえで、重要な指標となる遺物である。もともと多様な器種を生み出した7、8世紀（律令期）の土器は、さまざまな地域から都城に土器が持ち込まれた時期であり、生産と流通の視点は不可欠である。また、食器としての土器以外にも、製塩土器や陶硯、土馬、人面墨書土器など、古代の人々の生活に関わる土製品がたくさんある。これらの分析を通じて、藤原京、平城京に生きた人々の生活を考究したい。また、平城京が廃都となった後は、寺社を中心に奈良は発展をとげ、中近世の遺跡も多い。これらの遺跡の年代を決めるのも、また土器である。中近世の土器の年代をはかる「ものさし」作りは、考古学研究の根幹であり、どの地域、どの時代の歴史研究にとって、必要不可欠な作業である。実際に南都の寺院から出土した土器の編年作業を、遺物に則して解説し、実践的な講義内容としたい。
6110040E6	歴史考古学特論 II	神野 恵	客員教員	前期 その他 その他 奈良文化財研究所	複合	1年次以上	2時間	2単位	飛鳥時代から奈良時代の土器・陶磁器を中心に、実際の出土遺物を用い、演習をおこなう。出土遺物の観察方法は、実体顕微鏡を用いた胎土の観察をはじめ、実測図の作成、拓本の作成、石膏復元、データベース作成、デジタルによる3次元計測など、基本的な考古学の手法が身につけていることを前提に、より高度な遺物観察方法、実測図作成、写真撮影法などを実践的な演習をおこなう。
6110050E6	歴史資料論 I	桑田 訓也	客員教員	前期 水曜日 5・6時限 奈良文化財研究所	複合	1年次以上	2時間	2単位	文献史料だけでなく多様な資料が歴史資料として注目されるようになってきた今日、従来の枠組みにとらわれない新しい歴史資料論が必要となってきました。中でも考古学による調査成果、特に木簡をはじめ、墨書土器、漆紙文書などの出土文字資料が歴史資料に占める位置づけは格段に大きくなっています。このような状況をふまえて、受講生のみなさんとともに、新しい日本史の歴史資料論の構築を目指したいと思います。
6110060E6	歴史資料論 II	桑田 訓也	客員教員	後期 水曜日 5・6時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	文献史料だけでなく多様な資料が歴史資料として注目されるようになってきた今日、従来の枠組みにとらわれない新しい歴史資料論が必要となってきました。中でも考古学による調査成果、特に木簡をはじめ、墨書土器、漆紙文書などの出土文字資料が歴史資料に占める位置づけは格段に大きくなっています。このような状況をふまえて、受講生のみなさんとともに、新しい日本史の歴史資料論の構築を目指したいと思います。
6110090B6	日本中世社会文化史論 I	西谷地 晴美	人文科学系	前期 木曜日 9・10時限 S 3 2 7	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代・中世に関する刺激的な論考の輪読と、各自の研究報告を交互に行う。
6110100B6	日本中世社会文化史論 II	西谷地 晴美	人文科学系	後期 木曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代・中世に関する刺激的な論考の輪読と、各自の研究報告を交互に行う。
6110230B6	比較民族文化論 I	武藤 康弘	人文科学系	前期 月曜日 9・10時限 N 3 1 4	演習	1年次以上	2時間	2単位	In this class on ethno-archeology, I will compare the results of anthropological research on native peoples in North America with the results of archeological surveys on indigenous people's living cultures.
6110240B6	比較民族文化論 II	武藤 康弘	人文科学系	後期 月曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	We will compare and discuss the basic research methods of process archeology and the method of post-process archeology
6110250E6	文化財学の諸問題 I	今井 晃樹	客員教員	前期 その他 その他 奈良文化財研究所	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代文化は、東アジア諸国からさまざまな影響を受けて成立してきた。本講義では、日本の7世紀、8世紀の文化と同時期の東アジア諸国の文化を比較検討し、彼此の間で具体的にどの部分がどのような影響関係があるかを明らかにしていく。主に考古学の研究成果を検討の中心とするが、必要に応じて、歴史学、美術史、建築史等の関連諸科学の成果も参照する。
6110260E6	文化財学の諸問題 II	今井 晃樹	客員教員	後期 その他 その他	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代文化は、東アジア諸国からさまざまな影響を受けて成立してきた。本講義では、日本の7世紀、8世紀の文化と同時期の東アジア諸国の文化を比較検討し、彼此の間で具体的にどの部分がどのような影響関係があるかを明らかにしていく。主に考古学の研究成果を検討の中心とするが、必要に応じて、歴史学、美術史、建築史等の関連諸科学の成果も参照する。
6110290B6	アジア文化史論 I	矢島 洋一	人文科学系	前期 月曜日 3・4時限 教員研究室	演習	1年次以上	2時間	2単位	アジア文化史を原典史料から構築する手法を学ぶ。地域的・時代的多様性をもつアジアの歴史について研究するには、まず研究対象地域の語学の習得から始め、史料を当時の文化的背景に関する知識を踏まえて読解し、得られた知見でその知識を修正していく作業を繰り返していかなければならない。またアジア史は多くの場合多言語・多文化が交錯する場なので、複数の言語・文化に関する知識と比較の視点が必要となる。本科目では以上の作業を行うために必要な技術が何かを見極め修得するための手法を学ぶ。
6110300B6	アジア文化史論 II	矢島 洋一	人文科学系	後期 月曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	アジア文化史に関する原典史料を、その性格や歴史的意義について議論しつつ読み進めていく。史料の解釈には、まず文章として正確に読解したうえで、当時の文化的背景を踏まえつつ、その記述が歴史の何を反映しているか考察していく必要がある。本科目では参加者の研究対象文献について、必要に応じて地域間比較の手法や先行研究の精査を援用しつつ、歴史史料としての意義を検討する。さらにそこから得られた知見を学術論文として発表することを目指す。
6110310B6	国風文化論 I	西村 さとみ	人文科学系	前期 水曜日 1・2時限 S 3 2 7	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の文化・思想に関する研究文献の批判的検討を通して、文化史の方法論ならびにその可能性を追究する。また、受講者各自の研究テーマにもとづく報告と、それをめぐる討論もあわせておこなう。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6110320B6	国風文化論Ⅱ	西村 さとみ	人文科学系	後期 水曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の文化・思想に関する研究文献および関連史料の講読を通して、文化史の方法論ならびにその可能性を追究する。また、受講者各自の研究テーマにもとづく報告と、それをめぐる討論も、あわせておこなう。
6110000F6	博士論文執筆指導	全教員	人文科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文の執筆を目標として、研究テーマに関する基礎知識の確認と、より高度な専門知識の習得、研究課題と論文構想の明確化、執筆へのプロセスの確立、そして具体的な執筆などについて、適切な指導を行う。 また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6120030E6	日本語文化表現論Ⅰ	尾山 慎	人文科学系	前期 木曜日 1・2時限 N 3 2 7	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本語学において文字表記論はいかに構築されてきたか、先人の議論を熟読し、批判的検討を行う。個別の研究論文もさることながら、論集・著作において示される方法論、研究としての意義可能性を各研究者がどのように描いているかを把握する。現状、漢字しか存在しなかった上代の文字表記論が、以降の時代から切り離されている観があるが、平仮名成立以降の議論とどうリンクさせられるか、あるいははいつあるかということに着目して、主に前期は一大研究史を描出することを目的とする。
6120040E6	日本語文化表現論Ⅱ	尾山 慎	人文科学系	後期 木曜日 1・2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本語学において文字表記論はいかに構築されてきたか、先人の議論を熟読し、批判的検討を行う。個別の研究論文もさることながら、論集・著作において示される方法論、研究としての意義可能性を各研究者がどのように描いているかを把握する。現状、漢字しか存在しなかった上代の文字表記論が、以降の時代から切り離されている観があるが、平仮名成立以降の議論とどうリンクさせられるか、あるいははいつあるかということに着目する。
6120060E6	中国言語文化構造論Ⅱ	大平 幸代	人文科学系	後期 水曜日 1・2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	「魏晋南北朝文人研究」 魏晋南北朝期の文人に関する伝記史料や後世の批評を読み、文人像の形成や評価のされ方を探る。対象とする文人について、資料を博捜し、時代による評価の変遷などに留意しながら検討する。
6120070E6	中国言語文化表現論Ⅰ	前田 真砂美	人文科学系	前期 水曜日 1・2時限 N 2 1 9	複合	1年次以上	2時間	2単位	高度に孤立語的であり、文法形式に乏しいとされる中国語が、如何なる手段を用いて、様々な事態やその知覚、あるいは人間の種々の認知活動を表現しようとしているのか。特定の文化圏とそこで使用される言語にはどのような関連があるのか。これらの点を問題意識の底に据えつつ、主に中国で発表された論文を精読し、中国語学の分野における研究動向について理解を深めるとともに、問題を発掘する力を養う。
6120080E6	中国言語文化表現論Ⅱ	前田 真砂美	人文科学系	後期 水曜日 1・2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	中国語で書かれた最新の研究論文を読み、言語と文化のかかわり、あるいは言語とその表現機能について、中国語学の分野における先行研究の分析とその問題点の指摘を行なったうえで議論を行い、新たな知見の獲得を目指す。授業は演習形式で、発表者が関連書籍や論文を紹介し、概要の報告と問題提起をしたうえで、全員で議論を行う。
6120110E6	日本アジア表徴文化論Ⅰ	佐藤 有希子	人文科学系	前期 その他 その他 教員研究室	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本をはじめとするアジアの仏教美術作品をとりあげ、主に6-13世紀の表徴文化について検討、考察する。 当該時期のアジア地域における表徴文化を理解するにあたって、仏教美術は無視することのできない重要な位置を占めている。仏教文化は各時代、各地域の王権によって、その権威を示すためのツールとしてしばしば利用されてきた。この時期の仏教美術は、宗教的な表徴としてのみではなく、政治社会的な表徴としても理解されるべきものである。以上の認識を踏まえ、本講義では仏教文化と王権との関わりを重視しながら、日本アジア各地域の仏教遺跡や文物をとりあげ、その造形的特質や制作背景について理解を促す。
6120120E6	日本アジア表徴文化論Ⅱ	佐藤 有希子	人文科学系	後期 その他 その他	複合	1年次以上	2時間	2単位	6-13世紀の日本をはじめとするアジアの仏教美術史に関する最新の研究論文をとりあげ、それについて批判的検討を加える。討議形式。その後、各人の興味に沿った研究テーマについて発表を行う。
6120130E6	日本アジア文献資料論Ⅰ	佐々田 悠	客員教員	前期 金曜日 その他 N 3 2 5	複合	1年次以上	2時間	2単位	正倉院文書は、奈良時代に東大寺写経所が写経事業を進める過程で形成した一大史料群である。そこには、編纂された史料にはみられない、仕事の現場に密着した古代人の言語活動の痕跡を窺うことができる。本演習では、正倉院文書の原本調査に携わっている講師の指導のもと、史料としての正倉院文書の扱い方を学びながら、古代の国家・社会・人のあり方等について考察することをテーマとする。
6120140E6	日本アジア文献資料論Ⅱ	佐々田 悠	客員教員	後期 金曜日 その他	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本古代の重要な文献史料である正倉院文書を主たる素材に、東アジア古代社会において「文字を使用してしごとを行う」ことの意味を考えながら、文字資料から何を読みとることができ、いかなる歴史像を構築しうるかをテーマに授業を行う。正倉院宝物の保存・管理を担う本務先（宮内庁正倉院事務所）での知見に基づいて、正倉院展の会期前には出陳品に関する解説を行う。会期中に博物館に足を運んで、文書を含めた宝物の現物を通して歴史を考える機会も設ける。
6120150E6	日本アジア古典資料論Ⅰ	野尻 忠	客員教員	前期 水曜日 5・6時限 N 3 2 5	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本古代・中世仏教資料の識語と銘文 日本の古典資料のなかで大きなウェイトを占めるものに、仏教資料がある。写経や聖教といった典籍はその代表と言えるが、そうした紙媒体に記されたもの以外に、仏像や仏具などの造形品に記された文字（銘文）があり、これも重要な仏教資料である。また、写経や聖教であっても、本文テキストとは別に、それを製作した理由や目的を書き記すことがしばしばおこなわれた（識語）。 本講義では、こうした銘文や識語を読み進め、当時の人々の思考に迫ってみたい。当面は、写経の識語を取り上げ、必要に応じて他の銘文資料も扱う。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6120160E6	日本アジア古典資 料論Ⅱ	野尻 忠	客員教員	後期 水曜日 5・ 6時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本古代・中世仏教資料の識語と銘文 日本の古典資料のなかで大きなウェイトを占めるものに、仏教資料がある。写経や聖教といった典籍はその代表と言えるが、そうした紙媒体に記されたもの以外に、仏像や仏具などの造形品に記された文字（銘文）があり、これも重要な仏教資料である。また、写経や聖教であっても、本文テキストとは別に、それを製作した理由や目的を書き記すことがしばしばおこなわれた（識語）。 本講義では、こうした銘文や識語を読み進め、当時の人々の思考に迫ってみたい。当面は、写経の識語を取り上げ、必要に応じて他の銘文資料も扱う。
6120170E6	日本アジア言語分 析論Ⅰ	鈴木 広光	人文科学系	前期 火曜日 1・ 2時限 N 3 2 8	複合	1年次以上	2時間	2単位	従来、日本語の文体は、用字・用語、文末詞の選択の問題か、作家等の個人に還元して論じられてきたが、それらはいずれもジャンル意識を自明のものとしてきた。この演習では、そもそも文体やジャンルなるものを構成し、読者にそれを意識させる要素は何なのかを抽出する作業を行う。そのために文体を、これまでの指標だけでなく、文の型や文章の論理構成の型、書体の選択や文字・語句の空間への配置形式などを含み込む「型（フォーマット）」という観点から分析する。この演習では、参加者が各自の専門 s で扱うテキストを持ちより、詳細に観察して、テキストが「読める」形式というものを成立せしめている諸要素の存在を析出し、文体やジャンルという考え方を洗い直すことを目指したい。前期はまず山本貴光『文体の科学』を読み、分析のための観点や枠組みを確認するところから始める。
6120180E6	日本アジア言語分 析論Ⅱ	鈴木 広光	人文科学系	後期 火曜日 1・ 2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	日本語の文体はこれまで、用字・用語、文末詞の選択の問題か、作家等の個人に還元して論じられてきたが、それらはいずれもジャンル意識を自明のものとしてきた。この演習では、そもそも文体やジャンルなるものを構成し、読者にそれを意識させる要素は何なのかを抽出する作業を行う。そのために文体を、これまでの指標だけでなく、文の型や文章の論理構成の型、書体の選択や文字・語句の空間への配置形式などを含み込む「型（フォーマット）」という観点から分析する。前期同様、参加者が各自の専門 s で扱うテキストを持ちより、詳細に観察して、テキストが「読める」形式というものを成立せしめている諸要素の存在を析出し、文体やジャンルという考え方を洗い直すことを目指したい。
6120200E6	日本古代中世文 学論Ⅰ	奥村 和美	人文科学系	前期 木曜日 1・ 2時限 N 2 2 5	複合	1年次以上	2時間	2単位	萬葉集をめぐる諸問題。 萬葉後期の歌を中心に、宮廷讃歌、挽歌、相聞、詠物歌、或いは歌集歌、歌日誌、連作、中国文学の受容等々をめぐる諸問題について、注釈史及び近・現代の研究史を踏まえつつ考察する。
6120210E6	日本古代中世文 学論Ⅱ	奥村 和美	人文科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	萬葉集をめぐる諸問題。 萬葉後期の歌を中心に、宮廷讃歌、挽歌、相聞、詠物歌、或いは歌集歌、歌日誌、連作、中国文学の撰取等々をめぐる諸問題について、注釈史及び近・現代の研究史を踏まえつつ考察する。
6120240E6	日本近世近代文 学論Ⅰ	磯部 敦	人文科学系	前期 金曜日 7・ 8時限 教員研究 室,前期 金曜日 9・10時限 教 員研究室	複合	1年次以上	2時間	2単位	前登志夫書簡を翻刻するとともに、第一歌集『子午線の繭』収録歌を初出との比較も含めて解釈する。
6120250E6	日本近世近代文 学論Ⅱ	磯部 敦	人文科学系	後期 金曜日 7・ 8時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	前期に引き続いて前登志夫書簡を翻刻するとともに、第一歌集『子午線の繭』収録歌を初出との比較も含めて解釈する。
6120260E6	中国言語文化伝 承論Ⅰ	野村 鮎子	人文科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 N 3 2 5	複合	1年次以上	2時間	2単位	「中国女性文学研究Ⅰ」 西洋の過去2回のフェミニズム運動の波は、中国の文学史の叙述と批評に、大きな影響を与えた。特に最初の五四運動以降、中国古典文学史の分野でも、女性文学の欠落を埋めようとする研究が勃興する。前期の授業では、五四時期以降の女性主義文学批評に関する理論とその影響について検討する。授業は演習形式とし、発表担当者はこのテーマに関わる研究者の著書や論文を一つ択んで、授業で報告し、受講者全員がそれについて検討する。
6120270E6	中国言語文化伝 承論Ⅱ	野村 鮎子	人文科学系	後期 木曜日 5・ 6時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	「中国女性文学研究Ⅱ」 西洋の過去2回のフェミニズム運動の波は、中国の文学史の叙述と批評に、大きな影響を与えた。後期の授業では、特に1980年代以降の新しいフェミニズム理論が、中国古典文学や女性文学研究に与えた影響について検討する。授業は演習形式とし、発表担当者はこのテーマに関わる研究者の著書や論文を一つ択んで、授業で報告し、受講者全員がそれについて検討する。
6120000F6	博士論文執筆指 導	全教員	人文科学系	その他 その他 其 他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	論文執筆のための基礎的知識といつかの研究方法について確認した上で、専門的知識の獲得と独自の研究方法の確立を目指すべく適切な指導を行う。さらに、博士論文作成に向けて、テーマやアプローチの手段方法について確認し、個別の具体的諸問題の解決のサポートを行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6130010A6	欧米文化情報論 Ⅱ	トワート・クニル マウ	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	
6130030B6	欧米表象文化論 Ⅰ	市川 千恵子	人文科学系	前期 金曜日 7・ 8時限 S 3 1 1	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course aims to analyse modes of representation in women's writing on women, by focusing on biographies of women authors written by women. We will examine the ways in which biographical works represent gender and social issues. At the same time, we will examine how the authors utilise fictional techniques in their writing. In so doing, we will discuss specific topics and deepen our understanding of 'Life Writing' as a literary subgenre.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6130040B6	欧米表象文化論Ⅱ	市川 千恵子	人文科学系	後期 金曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course aims to analyse modes of representation in 'Life Writing' including biographies, autobiographies and memoirs. We will examine the ways in which the authors represent intricate relationships between others and selves, by close reading of the texts. In this course, we will also read recent academic articles in this genre, which will prompt participants to explore new aspects in this field.
6130050A6	欧米言語文化論Ⅰ	高岡 尚子	人文科学系	前期 月曜日 1・2時限 S 3 3 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	フランスにおける近代と哲学・文学について、専門書（ポール・ベニシュ『作家の聖別』）を読みながら、幅広く考察し、論じる。
6130060A6	欧米言語文化論Ⅱ	高岡 尚子	人文科学系	後期 月曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	フランスにおける近代と哲学・文学について、専門書（ポール・ベニシュ『作家の聖別』）を読みながら、幅広く考察し、論じる。
6130110E6	欧米言語分析論Ⅰ	吉村 あき子	人文科学系	前期 金曜日 5・6時限 S 3 1 2	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class focuses on the cognitive-pragmatic aspect of language, and discusses human cognitive mechanisms operating behind our language uses: how human perception and cognition are reflected on our language uses; what kind of cognitive constraints are involved in them, etc. From the cognitive viewpoint of utterance interpretation processes, semantics and pragmatics are characterized by codes and inferences respectively. The target of analysis covers from lexical expressions to communication units beyond sentences, and the topics vary. This class updates the students' linguistic theoretical knowledge of semantics, pragmatics and cognitive linguistics and develops their abilities of analyzing linguistic data. The prospective students should attend the first class (1st Week). (ことばの認知語用論的側面に焦点を当て、人間の知覚や認識が言語にどのように反映され、どのような制約を課しているかという視点から、ことばの背景に働く認知メカニズムを論じる。言語学における意味論と語用論は、発話の認知処理プロセスの視点から、それぞれコードと推論によって特徴づけられる。分析対象の単位としては、語彙表現から文を超えたコミュニケーションに至るまで、多様な言語現象の意味論的・語用論的側面に注目し、最新の認知理論について論じる。注：初回授業時出席必須)
6130120E6	欧米言語分析論Ⅱ	吉村 あき子	人文科学系	後期 木曜日 1・2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This class aims to develop students' abilities of analyzing a variety of linguistic data, by understanding and examining high-quality linguistic research papers published in international journals such as SCOPUS, with close attention to the latest trends in cognitive pragmatics. (認知(語用)理論の最新の動向に注意を払いながら、具体的な言語現象に関する言語学的文献を理解し検証することを通して効果的な分析方法を学び、言語分析を実践する。具体的な言語現象に関して、認知語用論的分析の国際ジャーナルレベルの文献を精読して理解し、検証・議論することを通して、言語の認知的分析の最新動向を把握しつつ、当該領域における言語分析の問題意識の在処を理解し、具体的なトピックについて認知語用論的言語分析を実践する。)
6130013E6	欧米言語情報論Ⅰ	渡辺 太郎	非常勤講師	前期集中 その他 その他 その他	複合	1年次以上	2時間	2単位	計算機による自然言語処理の現状、および、その基礎となる言語解析手法、言語学研究のための言語データの利用について解説する。具体的には、英語や日本語を対象にした形態素解析、統語解析、意味解析など基本的な解析技術を説明し、深層学習など機械学習を応用したアルゴリズムについて解説する。さらに、情報抽出や機械翻訳、要約、質問応答など、自然言語処理の応用研究を紹介する。
6130150B6	イギリス言語文化情報論Ⅰ	齊藤 美和	人文科学系	前期 金曜日 3・4時限 教員研究室	演習	1年次以上	2時間	2単位	Close critical analysis is at the heart of the study of literature. In this course we shall look at a selection of poetry and prose from the seventeenth to the eighteenth century, using key concepts and terms of the critical idiom.
6130160B6	イギリス言語文化情報論Ⅱ	齊藤 美和	人文科学系	後期 金曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Close critical analysis is at the heart of the study of literature. In this course we shall look at a selection of poetry and novels from the nineteenth to the twentieth century, using key concepts and terms of the critical idiom.
6130190B6	アメリカ言語文化情報論Ⅰ	中川 千帆	人文科学系	後期 火曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Governesses have taken an important place in feminist literary studies. However, this class does not read major governess novels by the Bronte sisters, such as Jane Eyre and Agnes Grey. This class is not about realistic historical and social situations surrounding governesses, rather about literary imaginations projected onto the figure of the governess. The governess allowed middle-class women to have a decent profession. In addition, it allowed female writers to explore the possibility of self-realization and independence. Sometimes the governess is thrown into a Gothic house to investigate strange noises and suspicious shadows, or seen as villains who trample upon the rigid social line. The governess has become one of the favorite characters in historical romance novels today. This class aims to illuminate various images and significances of the governess, positive and negative, such as women's independence, love, social climbing, and intellect. We will discuss in the first class what works we will read in this class; the below is a suggested lineup.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6130200B6	アメリカ言語文化情報論Ⅱ	中川 千帆	人文科学系	後期 火曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	The figure of the double, doppelganger, or twin, has inspired many writers, resulting in numerous works throughout history. In the Gothic, the double appears to question the uniqueness and/or multiplicity of the self. Tvetan Todrov argues that the double is one of the motifs of the fantastic, in the category of the theme of the self. Explorations into the self and into the issue of identity, however, are not only the question of philosophy or psychology. The theme can permeate genres, history, and cultures. This class will read the various novels and short stories in which the double appears, whether as a main character or a subordinate character, to see how the theme of the double is used in fiction. The below is a suggested reading list for this class—after discussing with participants, we may decide to read different titles.
6130210A6	アメリカ言語文化分析論Ⅰ	竹本 憲昭	人文科学系	前期 火曜日 5・6時限 S 3 3 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代アメリカ文学の作品として、主に20世紀の小説をとりあげ、テキストの精読をもとに作品の検討、解釈を行う。人種・民族的にも、宗教的にも、ジェンダー的にも、様々な問題を抱え複雑なアメリカ社会のあり方を反映した文学作品は、多種多様な読み方を可能にする豊かさをもっている。また、リアリズム・ナチュラリズム、モダニズム、ポストモダニズムと、時代とともに主流となる手法が移り変わって、各時代の世相に応じた実験的・個性的な作品が創造されている。こうした多様性に目配りしながら、主要な作家の代表作を丁寧に読み進め、現代アメリカ文学の広く深い理解を促す。 今年度はWilliam Faulknerの代表的短篇を精読する。
6130220A6	アメリカ言語文化分析論Ⅱ	竹本 憲昭	人文科学系	後期 火曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代アメリカ文学の作品として、主に20世紀の小説をとりあげ、様々な観点から作品の検討を進める。作品の背景となる社会や文化が、現代アメリカにおいてはどのようなものであるのか、19世紀以前のアメリカや、現代の日本、イギリスなどと比較し、現代アメリカ特有の人種・民族的、宗教的、ジェンダー的な問題点を明らかにしたうえで、様々な批評理論や先行研究にもある程度の目配りをしながら、作品の解釈を自由な討論の形式で行う。
6130250B6	ドイツ言語文化分析論Ⅰ	吉田 孝夫	人文科学系	前期 月曜日 7・8時限 S 3 3 4	演習	1年次以上	2時間	2単位	Bertolt Brecht: Mutter Courage und ihre Kinder 研究
6130260B6	ドイツ言語文化分析論Ⅱ	吉田 孝夫	人文科学系	後期 月曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Bertolt Brecht: Mutter Courage und ihre Kinder 研究
6130270E6	談話分析論Ⅰ	須賀 あゆみ	人文科学系	前期 木曜日 1・2時限 S 3 3 4	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course intends to explore the system of communication from the perspective of Conversation Analysis. Specific attention will be given to how the speaker's design of the utterance with the assumptions of the hearer's knowledge contributes to the achievement of interaction. We will deal with cross-linguistic studies to consider how the grammars affect the shapes of interaction. (この授業では会話分析の視点からコミュニケーションのしくみについて探究する。特に、話し手が聞き手の知識を想定して行う発話のデザインがどのように相互行為の達成に寄与するのかに焦点を当てる。日英語を比較してどのように文法が相互行為に影響を与えるのかを考察する。)
6130280E6	談話分析論Ⅱ	須賀 あゆみ	人文科学系	後期 水曜日 1・2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	This course is intended to explore the relationship between grammar and social interaction. Using Conversation Analysis, we will discuss how certain types of linguistic formulations (either lexical or constructional) are selected in a particular moment of talk-in-interaction. We will observe such practices in naturally occurring conversational data, and discuss them with regard to turn design, sequence organization and social activities. This class includes Data Sessions, where a member will bring data of her own interest and we will observe them from various perspectives. (この授業では文法と社会的相互行為との関係について探究する。会話分析の手法を用いて、どのように特定の言語形式(語彙・構文)が会話の特定の場で選択されるのかという問題について議論する。自然発生的会話データに生じる現象を観察し、ターン・デザイン、連鎖組織、社会的活動を考慮に入れながら検討する。受講生各自が持ち寄ったデータについてディスカッションを行なう機会も設ける。)
6130000F6	博士論文執筆指導	全教員	人文科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文執筆に関して、そのためのリサーチ方法、及び、論文の構成、内容等に関して、主任指導教員および副指導教員が連携して、実践的な指導をおこなう。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6210010B6	運動生理論	星野 聡子	生活環境科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	スポーツ行動を生理学的視点から捉えるために、人体の解剖学的知識および生理的応答の機序についての基本的理解を促す。これをふまえ、独立変数をスポーツ行動の変化、従属変数を生理反応の変化として捉え、諸場面における心理的揺さぶりに対する変化を詳細に分析し、身体が語りかける言語(生理的反応)について理解する。
6210020B6	運動生理論演習	星野 聡子	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	スポーツ生理学およびスポーツ精神生理学に関する最新文献を受講者が読み、発表する。発表を通して、著者の問題設定と、実験方法やデータ処理方法を学び、考察の展開を読み解く。これらの過程を通して、自らの研究課題の問題設定と展開について考え、討論する。
6210030A6	身体運動制御学論	藤原 素子	生活環境科学系	前期 木曜日 7・8時限 N 1 1 9	講義	1年次以上	2時間	2単位	身体運動の制御機構について、神経生理学的な側面とバイオメカニクスな側面から解説する。神経生理学的側面からは、動作発現のためのニューロン活動から身体全体としての動作発現、遂行に至るまでの中枢および末梢の神経系の機能について述べる。またバイオメカニクスの側面からは、巧みな身体運動の遂行に関して、随意運動制御の基礎理論と研究方法について、国内外の論文を紹介しながら解説する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6210040B6	身体運動制御学論演習	藤原 素子	生活環境科学系	後期 木曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	この授業では、身体運動発現から遂行に至るまでの随意運動制御のメカニズムをテーマに、海外の最新文献読解、レジメの作成、発表を行いながら演習を行う。受講生の積極的な討議と随意運動制御のメカニズムについての理解を促す。
6210050A6	運動心理学	中田 大貴	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	脳と心、運動学習理論、身体知覚、身体発育発達、運動と健康等について学習する。
6210060B6	運動心理学演習	中田 大貴	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	運動心理学に関する論文を幅広く講読し、その研究手法などについて検討する。個々の学生の博士論文に関係する研究課題について、研究計画、研究方法、データの処理、結果の解析・評価、結論の妥当性などについて討議する。
6210070A6	リズム表現行動論	成瀬 九美	生活環境科学系	前期 月曜日 7・8時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	我々の身体は、内部に固有のリズムを持ちながら、外的なリズムを認知し処理しながら行動している。身体とリズムの関係について、身体表現研究を中心に、関連領域の研究成果を紹介する。
6210080B6	リズム表現行動論演習	成瀬 九美	生活環境科学系	後期 月曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	リズム行動、身体表現、およびダンス/ムーブメントの療法的使用に関する文献を各自が読み、発表する。研究背景、研究手法、結果の解釈などについて受講生同士で議論し、各自の研究課題を探る。
6210130B6	スポーツ社会論	石坂 友司	生活環境科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	本講義ではスポーツ社会学に関する文献（論文、著書）を読み進めて、現代スポーツを読み解く視角を獲得するとともに、スポーツ社会学の緒理論と概念の応用力を身につける。受講者は毎回レジメを作成し、それをもとにディスカッションを行う。
6210140B6	スポーツ社会論演習	石坂 友司	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	本講義ではスポーツ社会学に関する文献（論文、著書）を読み進めて、現代スポーツを読み解く視角を獲得するとともに、スポーツ社会学の緒理論と概念の応用力を身につける。受講者は毎回レジメを作成し、それをもとにディスカッションを行う。
6210250B6	人間形成文化論	柳澤 有吾	人文科学系	前期 木曜日 3・4時限 F501	演習	1年次以上	2時間	2単位	前半は着眼点や議論の構造に注目しながら、哲学や広く思想文化にかかわる文献について検討する（今年度は花崎皋平『アイデンティティと共生の哲学』ほか）。後半では、受講生と相談の上、各自の研究テーマとの関連で重要な二次文献を取り上げる。毎回、担当者がレジメを作成・発表した後、全体で検討・議論する。
6210260B6	人間形成文化論演習	柳澤 有吾	人文科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	学位論文作成のための基礎的作業を行う。主たる一次文献および重要参考文献について、各自で批判的検討を行った結果について全体で吟味し議論する。
6210270A6	教育システム論特論	保田 卓	人文科学系	前期 金曜日 5・6時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	N・ルーマンの社会システム理論によれば、教育システムと芸術システムは近代になってそれぞれ全体社会から分化した機能システムと捉えられる。近代教育においては芸術との関わりがさまざまに模索されてきたが、システム理論の立場からは、そこに社会という媒介項を抜きにしては考えられない。この授業では、芸術と社会の相互関係について、主としてルーマン社会システム理論に依拠しつつ論じる。
6210280B6	教育システム論演習	保田 卓	人文科学系	後期 木曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	教育社会学の諸領域から精選した論文を講読する。各受講者に論文を割り当て、授業では各回担当の受講者が論文の内容をまとめたレジメを作成してプレゼンテーションを行った後、全体で討議する。
6210310A6	人間形成思想史論特論	二井 仁美	人文科学系	前期 木曜日 3・4時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	授業者と受講者の関心の所在を中心に据えながら、人間形成思想史研究における史料調査と史料批判の方法について考察する。今年度は、感化院・少年教護院・教護院からの社会的自立、犯罪・非行からの離脱についての研究を検討することを通し、人間形成に関する研究の方法と視点を考察する。
6210320B6	人間形成思想史論演習	二井 仁美	人文科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	学位論文執筆に向け、基本的な先行研究や史料について、研究報告と討議を通じて相互に検討する。
6210340A6	社会認知情報論	中山 満子	人文科学系	前期 金曜日 9・10時限 N216	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会における対人関係を中心に、社会心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する。
6210350B6	社会認知情報論演習	中山 満子	人文科学系	後期 金曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	現代社会における対人関係を中心に、社会心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する。
6210360A6	認知心理学論	天ヶ瀬 正博	人文科学系	前期 金曜日 3・4時限 N215	講義	1年次以上	2時間	2単位	身体性（embodiment）と実環境着地（grounding）に対する社会的アプローチ、認知的アプローチ、情動的アプローチ、そして、神経科学的アプローチについて、文献を読み進めながら講じる。
6210370B6	認知心理学論演習	天ヶ瀬 正博	人文科学系	後期 金曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	身体性（embodiment）と実環境着地（grounding）に対する社会的アプローチ、認知的アプローチ、情動的アプローチ、そして、神経科学的アプローチについて、履修者が各自で文献を読み発表し討論する。
6210380A6	臨床発達論	狗巻 修司	人文科学系	前期 木曜日 9・10時限 N217	講義	1年次以上	2時間	2単位	発達心理学および臨床発達心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する
6210390B6	臨床発達論演習	狗巻 修司	人文科学系	後期 木曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	発達心理学および臨床発達心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する
6210000F6	博士論文執筆指導	全教員	人文科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文執筆のための各自の研究課題と研究方法を確認した上で、先行研究をふまえて各自の博士論文の独自性を明確にし、個別の具体的諸問題の解決、ならびに論文全体の構成を検討し博士論文の執筆指導を行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6220010A6	家族社会学	澤田 佳世	生活環境科学系	前期 月曜日 1・2時限 E304	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、社会現象としての人口と家族の変動およびその周辺事象に関する問題群について、ジェンダー・社会階層・エスニシティといった観点から探究した研究書・学術論文を講読し議論を行う。日本語及び英語の文献を扱う。本授業の内容に関連し、応用・補完可能な専門的知識を得るため、映像視聴やゲスト講師を招くこともある。 (注) 受講希望者は必ず備考を参照してください。
6220020B6	家族社会学演習	澤田 佳世	生活環境科学系	後期 月曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本授業は、受講生の研究報告と人口・家族に関する学術研究の文献講読を組合わせて行う。学位論文をベースにした研究書・学術論文や代表的な文献の講読と議論を通じ、人口・家族をめぐる研究動向とその方法を理解、各自の研究課題に発展的に応用し研究成果の報告を行う。英語および日本語の文献を扱う。本授業の内容に関連し、応用・補完可能な専門的知識を得るため、映像視聴やゲスト講師を招くこともある。 (注) 受講希望者は必ず備考を参照してください。
6220090A6	災害社会学	野田 隆	生活環境科学系	前期 木曜日 7・8時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	災害社会学のうち情報と組織に関するこれまでの到達点について概説する。ならびにゼミ生の研究テーマから数トピックを取り上げて講ずる。
6220100B6	災害社会学演習	野田 隆	生活環境科学系	後期 木曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「組織事故とレジリエンス」を読む。
6220110A6	共生生活史論	鈴木 則子	生活環境科学系	前期 水曜日 1・2時限 D407	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本近世医学史の講義。
6220120B6	共生生活史論演習	鈴木 則子	生活環境科学系	後期 水曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本近世・近代の医療史に関する論文を輪読する。日本の医学史研究の現状を理解するとともに、この領域の今後の課題を考える。
6220130A6	リーガルサービス論	大塚 浩	生活環境科学系	前期 木曜日 3・4時限 E320	講義	1年次以上	2時間	2単位	2000年代に本格化した司法改革の流れの中で、弁護士を中核としたリーガルサービスの質・量はともに大きな変化をきたしたといわれている。そのように大きな変動期を迎えている日本の司法において、市民生活や企業活動などに、より高品質のリーガルサービスを提供しようとする体制をいかに構築していくべきか、文献の輪読により議論を深める。具体的には、法テラスの組織と法律扶助関連業務の実態、被疑者・被告人国選弁護の変化、企業等の組織内弁護士の増加と企業法務の発展過程、公益弁護活動およびコース・ローヤリングなど、大きく変化しつつある弁護士の活動について取り上げる。
6220140B6	リーガルサービス論演習	大塚 浩	生活環境科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	2000年代に本格化した司法改革の流れの中で、弁護士を中核としたリーガルサービスの質・量はともに大きな変化をきたしたといわれている。そのように大きな変動期を迎えている日本の司法がより高品質のリーガルサービスを提供しようとする体制をいかに構築していくべきか、国際的視野に立って理解するため英語文献の輪読により議論を深める。具体的には、法テラスの組織と法律扶助関連業務の実態、被疑者・被告人国選弁護の変化、企業等の組織内弁護士の増加と企業法務の発展過程、公益弁護活動およびコース・ローヤリングなど、大きく変化しつつある弁護士の活動について取り上げる。
6220150A6	環境社会心理学	安藤 香織	生活環境科学系	前期 月曜日 5・6時限 E312	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、受講者の研究発表及び社会心理学、特に環境配慮行動に関わる心理や文化間の差異に関する文献の講読を行い、参加者全員でディスカッションを行う。それをもとに今後どのような研究課題があり得るのか、それに対してどのようなアプローチが可能であるかを検討する。受講者の講読する論文は英語、日本語のものを含む。
6220160B6	環境社会心理学演習	安藤 香織	生活環境科学系	後期 月曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	環境保全に貢献する個人や集団の行動を環境配慮行動と呼ぶ。環境配慮行動に関する社会心理学からの最新のアプローチをジャーナル論文の講読、討論を通じて学ぶ。講読する論文は英語、日本語のものを含む。
6220210A6	国際ジェンダー開発論	三成 美保	非常勤講師	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	
6220230A6	ジェンダー表象論	山崎 明子	生活環境科学系	前期 水曜日 3・4時限 E206	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、表象とジェンダー秩序に関する研究書・研究論文を精読し、ディスカッションを行う。本年は、特にものづくり・手仕事に従事する女性イメージが、いかなる社会的コンテキストと関わり消費・受容されるのか、またこうした女性像が生み出される背景について手工芸の現場について理解していくことを中心的課題とする。表現者としての女性と女性表象の両面をみながら、表象のジェンダー・ポリティクスについて考察していく。
6220240B6	ジェンダー表象論演習	山崎 明子	生活環境科学系	後期 水曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、表象とジェンダー秩序に関する研究書・研究論文を精読し、ディスカッションを行う。本年は、特にものづくり・手仕事に従事する女性イメージが、いかなる社会的コンテキストと関わり消費・受容されるのか、またこうした女性像が生み出される背景について手工芸の現場について理解していくことを中心的課題とする。
6220000F6	博士論文執筆指導	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主指導教員及び副指導教員が密接に連携し、個々の学生のテーマにそって、論文執筆過程における資料収集や調査、分析および論文構成や註・文献目録作成などについて、詳細に指導・助言する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6230010A6	アジア自然環境論	浅田 晴久	人文科学系	前期 金曜日 9・10時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	東南アジアから南アジアにかけての湿潤地域は、アジアモンスーンという日本と共通する自然環境下にありながらも、その社会や文化は独自の発達を遂げてきた。授業では、湿潤アジア地域を研究対象とする文献の紹介を通して、熱帯の社会や文化がいかにして成り立っているのか、自然環境や歴史的背景を踏まえつつ考察する。また、地域研究の方法論、地理学との違いについても議論する。
6230020B6	アジア自然環境論演習	浅田 晴久	人文科学系	後期 金曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course will introduce the latest topics in studies of Southeast Asia, South Asia or other tropical regions in Asia. Physical structures, historical backgrounds, socio-economic conditions will be considered to understand the contemporary problems in Asian countries. The results of review work or field survey by students will also be presented and discussed for their better academic performances.

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6230030A6	地域自然災害論	高田 将志	人文科学系	前期 金曜日 9・10時限 S111-3	講義	1年次以上	2時間	2単位	モンsoonアジアの湿潤変動帯に位置する日本列島では、火山・地震災害や水害・土砂災害の脅威が大きい。地域毎に異なる自然～人文社会環境と自然災害の発生要因に関する十分な理解なしには、このような災害への対応策を考えることは困難である。そこで本講では、日本国内のいくつかの具体的な地域を取り上げ、地域の自然・人文社会環境と自然災害の特色・発生要因について検討する。
6230040B6	地域自然災害論演習	高田 将志	人文科学系	後期 金曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	受講生各自に、個別具体的な地域の自然災害にかかわる国内外の研究論文の内容紹介をもらい、それについて討議を行う。その中で発見した課題に関して、各自が行った文献調査やフィールド調査の結果を報告してもらい、更に討議を行う。 We discuss the contents of domestic and foreign research articles on natural disasters in specific area. Students must report the results of their own literature reviews and field surveys.
6230050A6	文化社会学特論	小川 伸彦	人文科学系	前期 木曜日 1・2時限 N330	講義	1年次以上	2時間	2単位	文化社会学の諸問題「文化」は、関与する諸主体による意味づけを核として成立している。この意味づけは、異文化との接触や、立場・利害を異にする集団・階層間の相互作用、さらには国民国家の秩序形成や民族集団のアイデンティティ構築の営みによって変容し、翻っては、この意味づけの変化が新たな文化を生成する動因となる。この授業では、文化の様態をこのように捉えた上で、文化社会学の諸問題を理論的かつ経験的に討議する。
6230060B6	文化社会学演習	小川 伸彦	人文科学系	後期 木曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	地球的規模の情報化や価値の多元化が進展する現代社会にあつて、様々な立場や環境におかれた人々が、何を自分の文化と見なし、それをよりどころにしていか生きていくことが可能かという問題が、ますます重要性を帯びつつある。それは、文化というものを、いかなる主体がどのように構築しうるのかという問題でもある。本演習では、このような問題に広く関わるテーマについて研究指導を行う。 注：受講希望者は開講日を問合せください。備考欄にアドレス記載しています。
6230070A6	地域社会学特論	水垣 源太郎	人文科学系	前期 木曜日 3・4時限 E454	講義	1年次以上	2時間	2単位	地域社会・地域コミュニティの諸問題とその解決に向けた実践例の社会学的検討を行う。グローバル化や少子高齢化などのマクロ社会変動を背景として、現代の地域コミュニティは、その持続をめぐって、雇用、貧困、防災、医療・福祉、交通、環境、教育、育児にわたる多面的な問題に直面している。こうした状況に対応して、その解決に向けた介入的あるいは地域参加型実践の試みが盛んに行われるようになってきた。この授業では、関連する日英文献及び各種資料に基づいて、地域コミュニティを基盤とした諸テーマの調査分析および解決実践のデザインに関する理論的・応用的な検討を行い、その深い理解と実践能力の向上をめざす。
6230080B6	地域社会学特論演習	水垣 源太郎	人文科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	地域社会・地域コミュニティの諸課題に関する地域参加型研究の方法と実際について社会学的な検討を行う。現代の地域コミュニティが直面する雇用、貧困、防災、医療・福祉、交通、環境、教育、育児などの諸問題を社会的包摂、ジェンダー平等、多文化共生などの観点から捉えなおし、課題設定のあり方を考察するとともに、その介入型あるいは地域参加型リサーチ・デザインの実践的・応用的な検討を行い、参加者各自の調査研究に反映させることをめざす。授業は自由討論の形式で行う。
6230130A6	空間情報処理特論	石崎 研二	人文科学系	前期 木曜日 1・2時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	文献講読や研究テーマの発表を通じて、社会・経済現象を地域的・空間的な視点から読み解くための理論的・計量的方法を学ぶ。また、地理情報システム（GIS）を活用したデータ収集・分析に関する方法論を実践的に学ぶ。
6230140B6	空間情報処理特論演習	石崎 研二	人文科学系	後期 木曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	文献講読や研究テーマの発表を通じて、社会・経済現象を地域的・空間的な視点から読み解くための理論的・計量的方法を学ぶ。また、地理情報システム（GIS）を活用したデータ収集・分析に関する方法論を実践的に学ぶ。
6230170A6	都市社会空間論	吉田 容子	人文科学系	前期 木曜日 9・10時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	空間は人間や社会にとつての単なる器ではなく、また、その内部は均質なものではない。空間は多様なスケール（たとえば、グローバル世界、国家、都市、地域コミュニティ、家庭、身体）をもち、それぞれの空間内部では、様々な行為主体によって関係性が生み出され、その関係性がまた空間に投影されている。本講義では、都市社会地理学における国内外の研究成果を踏まえ、相互関係性の産物としての空間に投影される社会的諸関係（おもに、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ）に着目し、都市空間に内包される諸問題を読み解いていく。
6230180B6	都市社会空間論演習	吉田 容子	人文科学系	後期 木曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	現実の都市空間に存在する権力の諸関係を、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティをはじめ高齢者や障がい者といった社会的マイノリティの視点から読み解き、空間が相互関係性の産物であり社会的に構築されるものであることについての深い理解を促す。英語あるいは日本語の文献講読を中心とした演習形式の授業を中心に進めるが、受講生や教員の研究成果報告の場も設け、具体的事例を通じて都市空間のダイナミズムをめぐって議論を活発化させていきたい。 The aim of this class is to understand power relations that exist in urban space from the perspective of social minorities, such as ethnicity, gender, sexuality, the elderly and the disabled, and to promote a deep understanding of how space is a product of interrelationships and is socially constructed. We will take a form of exercises, mainly by reading English or Japanese literature, and will also set up a discussion for students and the teacher to report on their own research results. Through concrete examples, we hope to stimulate discussion on the dynamism which urban space produces.
6230190A6	比較地域文化論	内田 忠賢	人文科学系	前期 水曜日 3・4時限 E454	講義	1年次以上	2時間	2単位	文化研究の古典・名著を読む。今年度はJ.Clifford『Routes travel and translation in the late twenteen century』（邦訳『ルーツ 20世紀後期の旅と翻訳』）を精読します。同時に適宜、文化人類学、民俗学、地理学、社会学などの文化研究の動向についても情報交換します。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6230200B6	比較地域文化論 演習	内田 忠賢	人文科学系	後期 水曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	文化研究の古典・名著を読む。今年度はJ.Clifford『Returns Becoming indigenous in the twenty-first century』（邦訳『リターンズ 21世紀に先住民になること』）を精読します。同時に適宜、文化人類学、民俗学、地理学、社会学などの文化研究の動向についても情報交換します。
6230210B6	計量社会学方法 論特論	林 拓也	人文科学系	前期 火曜日 5・ 6時限 N 3 1 2	演習	1年次以上	2時間	2単位	社会的格差・不平等をはじめとする社会現象について、社会学の観点から実証的な研究を進めるための計量的な方法に関する講義と検討を行う。具体的には、リサーチ・クエスチョンや仮説の設定、質問紙等を用いた社会調査の設計と実施方法、調査から得られたデータへの社会統計学の各手法の適用といった一連の研究プロセスを講義した後、これに応用した研究例・分析例を紹介する。また、必要に応じて当該研究の論文を精読する。それをふまえた上で、受講者自身の研究にどのように応用できるかを議論・検討していく。
6230220B6	計量社会学方法 論演習	林 拓也	人文科学系	後期 火曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	社会的格差・不平等をはじめとする社会現象について、社会学の観点から実証的な研究を進めるための計量的な方法に関する演習を行う。受講者各自の研究関心・テーマに基づいて、関連する先行研究を整理・批判的検討を行いつつ、オリジナルなリサーチ・クエスチョンや仮説の設定に向けて議論を深める。次に、それを実証するために必要とされる調査法・分析法を検討する。その後、社会調査によって得られたデータを用いて実際に分析を行い、その結果の報告、および研究発表に向けて議論を行う。
6230250A6	行動地理学特論	西村 雄一郎	人文科学系	前期 水曜日 9・ 10時限 S 1 1 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、認知・行動地理学・時間地理学に関わる最新の研究動向を紹介するとともに、その学術的、社会的意義について考察していきます。これまでに行われてきた研究の方法論・調査手法・調査結果など研究のプロセスを含め、その変化を受講生とともに検証していきます。
6230260B6	行動地理学演習	西村 雄一郎	人文科学系	後期 水曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、GIS（地理情報システム）による行動データの分析を題材に、情報通信技術（ICT）の発展によって、私たちが日常生活の中で利用するようになった地理情報と行動データの現在、その利点や問題点・課題に関して、アクティブラーニング・実習形式による学習を行います。
6230270A6	地域文化論	寺岡 伸悟	人文科学系	前期 月曜日 7・ 8時限 N 3 3 0	講義	1年次以上	2時間	2単位	Research and report on social phenomena related to tourism culture, community development, etc., in relation to attendees' interests.
6230280B6	地域文化論演習	寺岡 伸悟	人文科学系	後期 月曜日 7・ 8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Research and report on social phenomena related to tourism culture, community development, etc., in relation to attendees' interests.
6230000F6	博士論文執筆指 導	全教員	人文科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主指導教員及び副指導教員が密接に連携し、個々の学生の博士論文のテーマにそって、論文執筆過程における資料収集や調査、分析および論文構成や註・文献目録作成などについて、詳細に指導・助言する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6240010A6	生気候論	吉田 伸治	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	都市・屋外空間の微気象の形成メカニズムと改良するための対策技術の現状と課題を学ぶ。
6240020B6	生気候論演習	吉田 伸治	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	都市・屋外空間の微気象の形成メカニズムの予測・評価手法を概説する。
6240030A6	住様式論	室崎 千重	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	世帯構成・ライフスタイル等の変化と住空間と生活様式との関連性に着目した住宅計画や住環境計画のあり方を検討するとともに、居住者意識との関わりを視野に入れ、今後の社会生活環境学における安全で安定した質の高い住様式の発展方向と住空間との関係、そのあり方を考察する。
6240040B6	住様式論演習	室崎 千重	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	住様式、住空間に関連する新しい課題を見出しながら、文献輪読及び先進事例の見学・調査を行い、生活環境計画に資するよう受講者の研究テーマの進展をはかる。文献輪読では、受講者が事前に作成した資料をもとに共に課題について議論する。それらの課題解決となり得る事例を探し、必要な情報収集と取り組みの評価方法の検討・実践を通して、課題解決につながる生活環境計画への理解を深める。
6240090A6	景観形成過程論	根本 哲夫	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	景観を自然環境に対する人為的干渉の結果として土地の上に立ち現れる視覚像と定義し、その生成過程の特徴を論述するとともに、その実際を追体験する。一連の講義のシーケンスは大きく2 つにわけられ、前半では、日本における景観行政の系譜を歴史的に概観する。後半では、受講生の研究テーマに即した具体的な事例を通じて、実践的な課題について考えるためのデザインサーヴェイを実施する。
6240100B6	景観形成過程論 演習	根本 哲夫	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	景観を自然環境に対する人為的干渉の結果として土地の上に立ち現れる視覚像と定義し、その生成過程の特徴を具体的な事例を通じて深く理解するとともに、その計画的コントロール手法の実践的に学ぶ。また、一連の作業を通じて、受講生の研究テーマの中に景観形成に関わる要因を取り入れていくうえで必要となる調査方法や分析手法を習得することに適した演習課題とする。
6240110A6	地域共生計画学	中山 徹	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	地域計画にかかわる制度、政策論を講義する。
6240120B6	地域共生計画学 演習	中山 徹	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	地域計画制度・政策論をふまえ、地域計画制度・政策論に関する演習を行う。
6240130A6	空間・社会環境史 論	藤田 盟児	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	人間と環境の関係を示す基本的文献や理論から、居住空間の構成がもつ多面性や多様性を理解するための理論、考え方、研究方法を講義する。それに基づいて文献輪読の担当範囲を自学自習して、その他の箇所の解読や理論的關係について自問自答形式の学修を行わせる。
6240140B6	空間・社会環境史 論演習	藤田 盟児	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	研究テーマに沿って、必要な演習を行う。演習には、修理現場や調査現場での実習も含まれる。
6240150A6	集住環境計画論	加藤 亜矢子	生活環境科学系	後期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生業を契機とした集住地域は地形的条件に関係づけられて形成されているが、20世紀に実践された都市計画の多くがその「遺産」を活用できなかった経緯がある。そうした経緯を把握した上で、具体的な地域を対象とし、その現況分析と再生計画の可能性について実践的な考察を行う。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6240160B6	集住環境計画論 演習	加藤 亜矢子	生活環境科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	実務組織への参加を通して実践的な住環境の計画方法を学習するとともに、住環境計画論で選択した地域を対象として具体的再生計画案を作成する。
6240170A6	居住環境整備論	山本 直彦	生活環境科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	都市組織、アーバンティシュー、都市景観の相互関連について、査読論文レベルの論考を読み込むことによってフィールドワークによる学術的な研究の意義を理解する。具体的な対象は、ネパールの世界遺産都市、奈良県明日香村とする。
6240180B6	居住環境整備論 演習	山本 直彦	生活環境科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	景観保全について、英語文献による講読を行う。世界遺産、伝統的建造物群保存地区、景観計画などさまざまな制度によって、文化財保存にとどまらず面的な町並みの保存が進んでいる。このように景観保全の動向は、日本においても世界においても、ますます高まりを見せており、文献購読により、制度のみならず、運用の実態や先端的な事例などについて理解を深める。
6240190A6	居住環境管理論	藤平 真紀子	生活環境科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	良好な居住環境を維持するとともに、継承していくことが求められている。本講義では、居住環境を構成する住宅に着目し、住宅の耐久性および持続可能な継承のあり方について、維持管理面から論じる。
6240200B6	居住環境管理論 演習	藤平 真紀子	生活環境科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	居住環境の管理について、現場での測定や観察および聞き取り調査から実態を把握する。そして、住宅、おもに木造住宅の耐久性向上および持続可能な継承のあり方について、維持管理面から検討する。
6240000F6	博士論文執筆指 導	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その 他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主指導教員及び副指導教員が密接に連携し、個々の学生のテーマにそって、論文執筆過程における資料収集や調査、分析および論文構成や註・文献目録作成などについて、詳細に指導・助言する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6310060A6	集積型金属クラ スター科学	中島 隆行	自然科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ナノサイズである金属クラスターは、バルクな金属と単分子の金属錯体と中間のサイズを有し、量子効果や非線形効果が期待できる。そのため、新しい物性や機能性が見出される可能性が高いうえ、量子素子としての応用の道が開かれれば産業的インパクトは非常に大きい。金属クラスターの中で、特に金属と配位子の自己集合に基づく集積型金属クラスターについて取り上げ、講義を行う。
6310070B6	集積型金属クラ スター科学演習	中島 隆行	自然科学系	前期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	金属クラスターは、その多彩な機能性から21世紀の高密度情報社会の基盤を支える重要要素と考えられおり、現在多くの研究者により盛んに研究が行われている。そこで、集積型金属クラスターに関連する最近の原著論文に目を通して、どのような応用研究がなされているかについて講義する。また、実験例を基に、実際に実験を行うことにより合成や単離精製に関する技術を指導する。
6310080A6	機能性分子変換 論	片岡 靖隆	自然科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	有機合成反応に利用することを指向した遷移金属錯体の設計、合成、およびその機能（反応性）について解説する。さらに、その金属錯体の特性を活かした高選択的、高効率な有機合成反応による分子変換法について基礎的な内容を解説する
6310090B6	機能性分子変換 論演習	片岡 靖隆	自然科学系	前期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	機能性分子変換論Iの講義において取り上げた内容に関する最新の学術雑誌に掲載されている論文を題材に、その論文の背景、意義等について受講者自らのプレゼンテーションを基盤とするセミナー形式の演習を行う。プレゼンテーションに対する担当教員との質疑応答を通してその論文の意図している化学についての理解を深める。
6310100A6	錯体触媒設計論	浦 康之	自然科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	遷移金属錯体を用いた触媒反応開発の研究分野は目覚ましい発展を続けている。本講義では、主に最近の錯体触媒反応ならびに遷移金属錯体の反応性についての研究成果を例に挙げながら、新しい有機合成反応を実現するための遷移金属錯体触媒の設計指針について解説する。特に中心金属の種類と酸化数に着目する。 Transition metal complex-catalyzed synthetic organic reactions have further blossomed in recent years. In this lecture, the guideline for the design of transition metal complex catalysts to realize new synthetic organic reactions will be explained, focusing on the kind and oxidation number of central metals, by taking the recent research findings on catalytic reactions and reactivity of transition metal complexes as examples.
6310110B6	錯体触媒設計論 演習	浦 康之	自然科学系	前期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	錯体触媒設計論Iでの講義内容に関連した、高水準の国際的学術雑誌に掲載された最新の原著論文（有機合成触媒反応あるいは遷移金属錯体の反応性に関する論文）をテーマとして取り上げ、その内容について受講者がプレゼンテーションを行い、参加者全員と討論を行う。 The presenters pick up latest original papers for catalytic synthetic organic reactions or reactivity of transition metal complexes related to the lecture of Design of Complex Catalysts I, published in high-level international academic journals, and make a presentation and discuss the contents with other participants.
6310140A6	溶液ナノ化学	吉村 倫一	自然科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	界面活性剤および両親媒性高分子は、水溶液中でモノマーとして存在しているよりも、自己組織化し、エネルギー状態が安定なナノメートルサイズのミセルやベシクルなどを形成する。本講義では、水溶液中ならびに水／油系における自己組織化の巨視的な相平衡の概念について解説する。
6310150B6	溶液ナノ化学演習	吉村 倫一	自然科学系	前期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	界面活性剤や両親媒性高分子の水溶液中における自己組織化現象や金属ナノ微粒に関して、国際的論文雑誌に掲載された最新の研究例を取り上げて講義する。
6310160A6	機能分子集団理 論化学	衣川 健一	自然科学系	前期 その他 その 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	種々の機能性を発現する多数個の分子集団・分子集合系について、その個々の分子自身の性質と集団として発現するマクロな機能性との関係を明らかにする理論化学的手法のうち、化学統計熱力学に関する方法、ならびに関連する理論的な背景について講述する。
6310170B6	機能分子集団理 論化学演習	衣川 健一	自然科学系	前期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	種々の機能性を発現する多数個の分子集団・分子集合系について、その個々の分子自身の性質と集団として発現するマクロな機能性との関係を明らかにする化学統計熱力学的分子理論の演習と、それらを実際の機能分子集団の熱的物性の解明に応用するための分子動力学法のコンピュータ実習を行う。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6310220A6	金属蛋白質設計論	高島 弘	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	近年の生物無機化学の進展により、金属蛋白質の構造と機能が数多く明らかにされてきた。これらの知見を基盤とし人工的に金属蛋白質を設計出来れば、その構造や活性を合目的に制御することが可能であろう。本講義では、「金属蛋白質設計論II」と連動して、金属蛋白質の構造と役割における基本事項を解説・復習し、その後、金属蛋白質の改変や人工的設計に関する様々な手法について具体例を交えながら紹介する。
6310230B6	金属蛋白質設計論演習	高島 弘	自然科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	本演習では、「金属蛋白質設計論IおよびII」と連動して、金属蛋白質の設計と機能化に関する、最近の英語学術論文を各自が選定し、関連文献等について調査する。また、資料を基にその内容を演習形式で発表し、担当教員ならびに受講者で質疑・討論を行う。
6310240A6	複雑多分子系反応ダイナミクス特論	太田 靖人	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	近年の計算機の飛躍的進歩と多体理論の発展により、現実の物質を構成する複雑な分子集団の運動をより正確かつ効率的に捉えることが可能となってきた。本授業ではグラフェン、フラーレン、カーボンナノチューブといった低次元ナノ材料に焦点をあて、これらの物質が関連した最近の応用計算に関する講義を行い、いくつかの研究例を紹介する。
6310250B6	複雑多分子系反応ダイナミクス特論演習	太田 靖人	自然科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	講義「複雑多分子系反応ダイナミクス特論」で説明された電子状態計算法を用いて、簡単な分子系のシミュレーションを行う。
6310260A6	ナノ金属錯体物性論	梶原 孝志	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	金属錯体の特徴的な物性として磁性、電気伝導性、光物性の三つがあげられる。最近では特異な発光特性を有する希土類金属イオンを用いた研究に注目が集まってきている。遷移金属イオンと希土類金属イオンの相違点と共通点に着目しながら、これらを相補的・相乗的に組み合わせた新しい物質系の創出について解説する。
6310270B6	ナノ金属錯体物性論演習	梶原 孝志	自然科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	金属錯体における固体物性は電子(伝導性)、スピン(磁性)および光子(光物性)の三つがつかさどっている。本演習では金属錯体と磁気特性をキーワードに最近の学術雑誌に掲載された論文を取り上げ、その内容を手短かに紹介するとともに、担当教員による研究背景の説明をもとに、その論文の指向している磁気物性の発現、制御法について理解する。
6310280A6	生体分子科学	藤井 浩	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生体内では、さまざまな生体分子が存在し生命活動を支えている。これらの生体分子の中で金属イオンを含むタンパク質や酵素は、多くの生命現象に関わっている。本講義では、生体内で働く金属イオンを含むタンパク質や酵素がどのようにしてそれぞれの機能を獲得し発現しているのかを解明するためのさまざまな分光学的手法について原理、測定法、解析法などを解説する。
6310290B6	生体分子科学演習	藤井 浩	自然科学系	前期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	In this lecture, recent examples of experimental studies for the biological molecule science, published in the international academic journal, are introduced. On the basis of the introduction, students perform practice. In addition, students perform practice of presentation of their results of the practices. After the presentation, students discuss about the presentations with assist of the teacher.
6310000F6	博士論文執筆指導	全教員	自然科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文の構成、序論、理論的基礎、実験方法、結果、考察、参考文献等の書き方について、各人の研究テーマに即して個別に指導する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6320030A6	生体膜構造・機能論	鍵和田 聡	自然科学系	前期 その他 その他 B 4 1 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	生体膜の構造と機能は構成する分子の性質に密接に結びついている。この講義では生体膜の構成要素のうち特に膜脂質や膜タンパク質の物理化学的性質を生体膜で果たす機能と関連づけて解説する。具体的にはリン脂質・コレステロール・生理活性脂質の物理化学的性質、脂質二重層の物理化学的特性、膜タンパク質と脂質の相互作用、膜タンパク質の構造と機能、生体膜研究方法を扱う。
6320040B6	生体膜構造・機能論演習	鍵和田 聡	自然科学系	前期 その他 その他 B 4 1 3	演習	1年次以上	2時間	2単位	生体膜を構成する脂質・タンパク質の物理化学的性質（生体膜構成脂質や脂質二重層の物性、膜タンパク質の構造と機能、生体膜研究方法）に関連する最近の原著論文を題材に、その内容・問題点・今後の展開などについて受講者間で討論することにより理解を深める。
6320070A6	植物形態形成調節論	坂口 修一	自然科学系	前期 その他 その他 B 1 0 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	植物の形態形成の場の中で最も重要と考えられる分裂組織を取り上げ、そこで細胞分裂、細胞成長、組織分化等の諸プロセスがいかに調節されているか、それらの調節に関与している遺伝子（産物）、植物ホルモン、細胞骨格にはどのようなものがあるのか等についてこれまでの研究成果を解説し、今後めざすべき研究方向について議論する。
6320080B6	植物形態形成調節論演習	坂口 修一	自然科学系	前期 その他 その他 B 1 0 7	演習	1年次以上	2時間	2単位	植物における形態形成の調節機構に関する最新の英語文献を輪読することにより、本研究分野に対する理解を深め、現在の問題点を抽出するとともに、今後めざすべき研究方向、アプローチについて議論する。
6320130A6	細胞機能論	渡邊 利雄	自然科学系	前期 その他 その他 E 4 5 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	生命活動の基本単位である個々の細胞の機能についてとその解析方法について、学生の自主的な活動を通して学べるように解説を行う。本講義では、これまで様々な成果を挙げてきている株化された「いわゆる培養細胞」に注目して、培養細胞を用いた解析の成果とその解析手法に関して講義を行う。細胞内のシグナル伝達・物質輸送の制御機構などを取り上げ、均一な細胞集団を対象としたDNA, RNA, タンパク質、種々の修飾の解析法を、生化学的・組織化学的なものに分けて解説する。
6320140B6	細胞機能論演習	渡邊 利雄	自然科学系	前期 その他 その他 E 4 5 8	演習	1年次以上	2時間	2単位	Instruct students to learn about the functions of individual cells, which are the basic units of life activity, and how to analyze them, through students' voluntary activities. In this exercise, we focus on established so-called cultured cells, which have produced various results so far. I provide research guidance on carrying out research projects based on the obtained results using cultured cells and analytical methods. I focuses on control mechanisms of signal transduction and transporting systems in cells, and teaches analytical methods for DNA, RNA, protein, and various protein modifications using homogeneous cell populations. They include biochemical and histochemical analytical methods.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6320150A6	植物環境生理論	酒井 敦	自然科学系	前期 その他 その 他 B209	講義	1年次以上	2時間	2単位	植物の環境応答（非生物的環境要因に対する応答）に関して、生理学、生態学、生化学、分子遺伝学など様々な手法を用いてどのような研究成果が得られているかを論じる。
6320160B6	植物環境生理論 演習	酒井 敦	自然科学系	前期 その他 その 他 B209	演習	1年次以上	2時間	2単位	In this subject, students will read literatures on responses of higher plants to environment and discuss on the knowledge (including facts, methods, and ideas) recently obtained in this research field from physiological, biochemical, and molecular biological points of view. Moreover, the students and the lecturer will discuss on the direction of the reserch that should be taken in the future.
6320170A6	群集生態学論	遊佐 陽一	自然科学系	前期 その他 その 他 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	生物群集は、物理化学的環境、群集内のさまざまな種間関係、近接する群集などの影響を受け、複雑な様相を呈する。本講義では、最近の文献を基に、種間相互作用、間接効果、波及効果など生物群集を理解するうえで重要な基本的概念について論ずる。 Please ask me for the English content.
6320180B6	群集生態学論演 習	遊佐 陽一	自然科学系	前期 その他 その 他 教員研究室	演習	1年次以上	2時間	2単位	生物群集は、物理化学的環境、群集内のさまざまな種間関係、近接する群集などの影響を受け、複雑な様相を呈する。本授業では、種間相互作用、間接効果、波及効果など生物群集を理解するうえで重要な基本的概念について、自らの研究への適用の仕方を学ぶ。 Please ask me for the English content.
6320190A6	生物多様性論	佐藤 宏明	自然科学系	前期 火曜日 5・ 6時限 教員研究 室	講義	1年次以上	2時間	2単位	生物的組織体は遺伝子、細胞、組織、個体、個体群、種、群集、生態系、そして生命圏という階層を入れ子状に内包している。生物多様性の創出と維持、変動を理解するには、この生物組織体の特性を踏まえることが必須である。本講義では、まず生物の進化史を概説し、次に様々な動物の体作り共通する遺伝子群、すなわちツールキット遺伝子について解説し、その上で、この共通の遺伝子群から、なぜか多様な生物が進化するのかを考える。
6320200B6	生物多様性論演 習	佐藤 宏明	自然科学系	前期 火曜日 7・ 8時限 教員研究 室	演習	1年次以上	2時間	2単位	本演習では生物多様性の創出過程として進化に重点を置き、以下の項目に関する代表的文献を取り上げて論考する。(1) 生物系統地理、(2) 自然淘汰と適応、(3) 遺伝子、ゲノム、表現系の進化、(4) 種形成、(5) 大規模進化、(6) 行動と社会の進化。
6320210A6	植物分子環境応 答論	奈良 久美	自然科学系	前期 その他 その 他 B214	講義	1年次以上	2時間	2単位	高等植物の環境応答（特に光応答）や植物ホルモンによる生長制御、形態形成の分子メカニズムについて、解説する。同時に、これらの分子メカニズムを調べるための研究手法についても解説する。受講者の理解度を深めるために討論や口頭による質問を頻繁に行い、授業内容に関する課題（授業外レポート）を出題する。
6320220B6	植物分子環境応 答論演習	奈良 久美	自然科学系	前期 その他 その 他 B214	演習	1年次以上	2時間	2単位	受講者による論文紹介と討論を行う。紹介する論文の内容は、高等植物の環境応答や植物ホルモンによる形態形成の調節に関する最新の研究報告に限定する。発表内容に基づき、参加者全員で討論を行う。
6320230A6	微生物ゲノム生物 学論	岩口 伸一	自然科学系	前期 その他 その 他 B305	講義	1年次以上	2時間	2単位	生物学は遺伝子を研究の単位とする時代から、ゲノムを研究の単位とするゲノム生物学の時代になってきている。ゲノム生物学の課題は、(1)各生物を作り上げる全遺伝子セットを知り、生物を特徴づけているシステムを明らかにする、(2)生物を作り上げるために、遺伝子がどのように協調してはたらくしているかを明らかにする、(3)進化・系統をゲノムの変化から明らかにすることである。こうした、ゲノム生物学の現状と展望を微生物での研究を中心に解説する。
6320240B6	微生物ゲノム生物 学論演習	岩口 伸一	自然科学系	前期 その他 その 他 B305	演習	1年次以上	2時間	2単位	微生物を中心に、ゲノムから生物研究に関する解説書、最新の論文を学習し、その方法論と得られた結果の生物学的な意義について議論を行う。WEB サイトで公開されている様々なゲノムデータベースの検索法、解析ツールの使用法の演習を行う。
6320270A6	多細胞進化分子 論	西井 一郎	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生物の多様性を産み出した単細胞生物から多細胞生物への進化（多細胞化）は、多くの系統で独立して繰り返し起こっている普遍的な現象である。本講義では様々なモデル生物において、分子レベル/ゲノムレベルの研究を通じて明らかになった多細胞化の進化機構に関する一連の原著論文を精読・解説し、参加者全員で討論を行う。
6320280B6	多細胞進化分子 論演習	西井 一郎	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	生物の多様性を産み出した単細胞生物から多細胞生物への進化（多細胞化）は、多くの系統で独立して繰り返し起こっている普遍的な現象である。本演習では、多細胞化に関する最新の分子レベルの理解を得ることを目標とし、受講者は様々なモデル生物の多細胞化に関する原著論文・総説を精読し、研究発表を行う。さらに、参加者全員で討論を行う。
6320290A6	進化生態学論	井田 崇	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	進化生態学における最新の研究を論説・議論する。
6320300B6	進化生態学演習	井田 崇	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	主に植物の進化生態学研究における最新の研究を論説する。
6320310A6	応用生態論	片野 泉	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	自然環境における様々な課題解決のためには、生態学的な知識は欠かせない。この授業では、応用生態学に関する基礎的な知識を身につける。
6320320B6	応用生態学演習	片野 泉	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	自然環境における様々な課題解決のためには、生態学的な知識は欠かせない。この演習では、応用生態学に関する書籍を輪読し、基礎的な知識を身につける。
6320330A6	原生生物環境応 答論	杉浦 真由美	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	原生生物の環境応答に関して、細胞生物学、遺伝学、生化学、分子生物学など様々な手法を用いて行われてきた研究成果を紹介する。特に、原生生物繊維毛虫において栄養条件の悪化に対する応答に焦点を当て、これまでの研究を最新の知見を含めて紹介する。
6320340B6	原生生物環境応 答演習	杉浦 真由美	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	原生生物の環境応答に関して、自身の研究に関連のある研究報告（文献）を選択、講読し、講義参加者に対して発表を行う。発表内容に関して参加者全員で議論する。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6320000F6	博士論文執筆指導	全教員	自然科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文提出予備資格の認定を受けた学生に対して、博士論文の完成を目標として研究テーマに則した論文の執筆・作成の計画的指導を行う。
6330010A6	分子栄養論	井上 裕康	生活環境科学系	前期 その他 その他 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義は、味、嗅覚などについての分子生物学的研究の進展を紹介するとともに、それが栄養学とどのように結びついているかを論じる。特に、最近の研究成果を中心に紹介するとともにその限界や今後の問題点、これらの教育を進めていくのに必要な工夫などを論述する予定である。
6330020B6	分子栄養論演習	井上 裕康	生活環境科学系	前期 その他 その他 教員研究室	演習	1年次以上	2時間	2単位	本演習は、味、嗅覚などについての分子生物学的研究の論文を精読するとともに、今後の分子栄養学的研究にどのような方向性が必要であるかを議論する。
6330030A6	分子調理科学特論	菊崎 泰枝	生活環境科学系	後期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	食品には「栄養機能」「嗜好性に関わる機能」「生体調節機能」の3つの機能がある。本講義では、これらの食品機能に関与する栄養素、色素、味成分、香り成分、植物性食品に含まれるポリフェノールをはじめとする二次代謝成分について、化学構造、化学的性質、機能性、および調理や加工・保存過程における分子レベルでの動態について論じる。講義担当者の研究内容を紹介するとともに、国内外の専門書および研究論文等を題材に本研究分野の研究の経過、進展を論じ、今後の課題について討論する。
6330040B6	分子調理科学特論演習	菊崎 泰枝	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	食品機能に関与する栄養素、色素、味成分、香り成分、植物性食品に含まれるポリフェノールをはじめとする二次代謝成分について、化学構造、化学的性質、機能性、および調理や加工・保存過程における分子レベルでの動態に関する最新の学術論文を題材に演習を行う。
6330050A6	食生活素材機器分析論	高村 仁知	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	食生活素材には物性、成分、機能などに関する多くの情報が含まれている。これらの情報を解析する手法について、機器分析を中心に講述する。
6330060B6	食生活素材機器分析論演習	高村 仁知	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	食生活素材には物性、成分、機能などに関する多くの情報が含まれている。これらの情報を解析する手法について、機器分析を中心に演習を行う。
6330070A6	生活環境バイオセーフティ制御論	前田 純夫	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食環境を含む生活環境の安全性に関する制御要因を、近年の論文を題材に生物学・微生物学的観点から考察する。
6330080B6	生活環境バイオセーフティ制御論演習	前田 純夫	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	食環境を含む生活環境の安全性に関する生物学・微生物学的制御要因に関する最近の文献を講読し考察する。 This seminar provide participants with an opportunity to read and discuss recent reports on the biological or microbiological factors regarding the biosafety in the human living environment including the food environment.
6330090A6	免疫生物学特論	小倉 裕範	生活環境科学系	前期 その他 その他 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	食と関わる様々な疾患を取り上げ、それらの病態が形成される分子的機序を学習する。特に、これまでの研究の展開および現在の研究の最先端を見渡し、今後の研究の方向性を展望したい。
6330100B6	免疫生物学特論演習	小倉 裕範	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	食と関わる様々な疾患を取り上げ、それらの病態が形成される分子的機序を学習する。特に、これまでの研究の展開および現在の研究の最先端を見渡し、今後の研究の方向性を展望したい。
6330110A6	分子食医化学	松田 寛	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食および分子生物学と遺伝子工学の基本に立脚して、生活習慣病についての分子レベルでの理解を深められるように解説する。特に癌や糖尿病などの細胞内情報伝達系を取り上げる。
6330120B6	分子食医化学演習	松田 寛	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	バイオテクノロジーの進歩を示すテーマを取り上げ、生活習慣病との分子レベルでの理解を深める。このため、最新の欧文論文の講読と討論を行い、分子医化学的な論点を詳しく解説する。食との関連に焦点を置く。
6330130A6	疫学特論	高地 リハカ	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	疫学の原則から、結果の批判的吟味とその適用について学ぶ。じっさいの研究・臨床への応用についても学び、EBN（Evidence Based Nutrition）の研究に役立たせる。疫学の実態を理解して、実践できる基礎知識を学ぶ。
6330140B6	疫学特論演習	高地 リハカ	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	疫学の原則から、結果の批判的吟味とその適用について演習する。疫学の基礎とその研究の実態を演習をとおして理解する。じっさいの研究の模倣的・実践的な演習によって疫学研究の基礎知識・技術を習得する。
6330150A6	代謝制御学	中田 理恵子	生活環境科学系	後期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生体が種々の栄養状態などの環境変化に应答して、どのように代謝を制御し、機能を維持しているのかを論述する。
6330160B6	代謝制御学演習	中田 理恵子	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	生体が種々の栄養状態などの環境変化に应答して、どのように代謝を制御し、機能を維持しているのかに関する論文を精読し、討議する。
6330000F6	博士論文執筆指導	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文提出予定資格者に対して、博士論文完成を目標とした、研究テーマに即した論文の執筆・作成の計画的指導を指導教員が全員で行なう。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6340010A6	アパレル素材分子論	黒子 弘道	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	繊維素材の力学特性、熱特性、吸水性等の諸物性は繊維の高次構造に大きく依存する。固体高分解能 NMR 測定により得られる化学シフトだけでなく、量子化学計算(理論計算)により得られる化学シフトの情報を併用する事によりさらに詳細な高次構造に関する情報を引き出す事ができる。また、磁気緩和時間測定から得られた分子運動性の情報が得られる事から、磁気緩和時間の情報を基に、化学シフトの理論計算を併用した高分子鎖の詳細な高次構造の解析方法を講述する。
6340020B6	アパレル素材分子論演習	黒子 弘道	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	The students will read and understand research papers on fiber materials, and discuss and debate their contents.
6340030A6	アパレル管理論	原田 雅史	生活環境科学系	前期 その他 その他 D308	講義	1年次以上	2時間	2単位	固体/溶液界面に作用する界面張力、吸着現象について講述する。電気二重層の理論に裏づけされた固体粒子と溶液界面の静電的現象と電気泳動のような界面動電現象について解説し、アパレル材料のみならずコロイド溶液系の安定性に関する理論的研究と関連させながら説明する。
6340040A6	アパレル管理論演習	原田 雅史	生活環境科学系	後期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	粒子汚れの洗浄ならびにそれに関連する現象の最近の研究例について取り上げ、文献を輪読する。疎水コロイドの安定性に関する理論と応用的研究、洗剤の成分である界面活性剤の構造とその安定性、乳化可溶化に関して討論する。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6340090A6	環境適応生理学	鷹股 亮	生活環境科学系	前期不定期 その他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	生体は、環境の変化にตอบสนองして環境に適応することによって生命を維持している。生体が環境に適応するメカニズムに関して、先ず基礎的な内容について述べ、その後最新の研究の結果を解説する。特に、温度環境や光環境の変化、水分や食物の欠乏に対する生体の応答と生体内の性ホルモン環境が生体に及ぼす影響について取り上げて解説する。
6340100B6	環境適応生理学演習	鷹股 亮	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	環境の変化に対して、生体がどのように適応するかについて、最新の論文を講読してその内容について議論を行う。論文講読を通して、原著論文の書き方、生理学的なものの考え方、実験手法、研究の進め方を学ぶ。講読する論文は、環境と生体機能に関するもので大学院生が自ら興味のある論文とし限定しないが、環境に対する生体応答と性ホルモンに関する論文を読むことが望ましい。
6340110A6	環境生理・心理論	久保 博子	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 その他 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	生活環境の生理心理への影響また、行動的反応について、生活工学分野の環境工学・人間工学の視点で検討した学術論文を主な題材として輪読を行い、議論する。
6340120A6	環境生理・心理論演習	久保 博子	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験やフィールド調査等を取り上げ、学術雑誌や専門書を主な題材として輪読と討論を行い、科学的思考と問題解決能力を養成し、生活工学デザインへの応用事例を考察する。
6340130A6	温熱生理学	芝崎 学	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	生理学的視点からだけでなく、工学的視点からの体温調節について概説する。熱刺激に対する生体機能反応と、短期および長期間の曝露による適応について解説する。加えて、体温調節に密接に関係する循環調節ならびに体液調節との相互作用について解説する。
6340140B6	温熱生理学演習	芝崎 学	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	体温調節に関する古典的な論文から最新の論文まで幅広く読み、その研究手法の変化などについて比較検討する。
6340150A6	教育臨床論	伊藤 美奈子	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	教育臨床の専門性を広げるための実践を行い、それを受講生全体で共有するとともに、各自の実践から学び合う。とくに博士論文に向けて、相互のテーマについて学びを深めるとともに、相互に研鑽を行う。
6340160B6	教育臨床論演習	伊藤 美奈子	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	博士論文作成に向けて、または学会発表の準備として、発表練習および討論を行う。さらに、ゼミとして行っている共同研究についての検討を行う。
6340170A6	知能情報処理論	吉田 哲也	生活環境科学系	後期 その他 他	講義	1年次以上	2時間	2単位	サポートベクターマシンに代表される教師あり学習手法やk-平均法に代表される教師なし学習手法など、機械学習やパターン認識における最新の手法について学ぶ。
6340180B6	知能情報処理論演習	吉田 哲也	生活環境科学系	後期集中 その他 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	The students will apply the methods they learned in the Intelligent Information Processing Theory course on data regarding human and living environments. They will themselves examine research and assessment methods, and carry out related discussions.
6340190A6	犯罪原因論	岡本 英生	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	犯罪の原因についてのさまざまな先行研究を検討し、場合によってはデータ収集・分析なども行いつつ、より説得力のある犯罪原因論の構築のためには何が必要かを考える。
6340200B6	犯罪原因論演習	岡本 英生	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	犯罪の原因について、仮説を立て、データの収集・分析による検証を行うことを通じて、犯罪原因を明らかにするとともに、犯罪原因の研究法を学ぶ。
6340210A6	発達臨床心理学論	黒川 嘉子	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	ライフサイクルの視点と関係性の視点の双方から発達臨床のテーマを捉え、理論研究および心理実践研究をおこなっていく。
6340220B6	発達臨床心理学論演習	黒川 嘉子	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	発達の視点と関係性の視点から各自の研究テーマをさらに創造的かつ論理的に考えていき、ディスカッションを通して、発達臨床についての専門的理解を深め、心理臨床実践と研究とを有機的に関連させる。
6340230A6	認知・行動理論	梅垣 佑介	生活環境科学系	前期不定期 その他 他 教員研究室	講義	1年次以上	30時間	2単位	人の行動を刺激・反応の連鎖で捉える認知・行動理論に基づいて不適応行動や適応行動を理解し、研究するための方法論を学ぶ。先行研究の吟味や研究に関する議論を通じて理論的背景や方法論を理解する。
6340240B6	認知・行動理論演習	梅垣 佑介	生活環境科学系	後期不定期 その他 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	This class focuses on studies on cognitive and behavioral theories and practice. Students are required to review recent studies related to cognitive and behavioral therapies, and learn specific methodologies and approaches for their individual research themes. Further, students are encouraged to set their research themes, collect and analyze data, and present and discuss their results.
6340250A6	自律神経学	吉本 光佐	生活環境科学系	前期不定期 その他 別記 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	生体データの収録の基本的デザインの方法、その解析方法、まとめ方に地底実際に演習する。特に、神経性動脈圧調節に関する研究に必要な、血圧、心電図、筋電図、脳波、交感神経活動計測について詳細に説明する。
6340260B6	自律神経学演習	吉本 光佐	生活環境科学系	後期不定期 その他 別記	演習	1年次以上	30時間	2単位	循環および体液調節機構に関する最新の論文を輪読しながら、それらの調節系の統御システムを学ぶ。また交感神経活動の中枢性修飾機構と循環調節について討論する。
6340000F6	博士論文執筆指導	全教員	生活環境科学系	その他 他 その他 他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	博士論文提出予定資格者に対して、博士論文完成を目標とした、研究テーマに即した論文の執筆・作成の計画的指導を指導教員が全員で行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6510002A6	現象構造解析特論Ⅱ	片桐 民陽・宮林 謙吉・狐崎 創	自然科学系	前期 火曜日 9・10時限 C141	講義	1年次以上	2時間	2単位	数学、物理の複数の教員が、それぞれの専門に関連する分野での重要な考え方・方法・概念・課題、最先端の研究、応用、他分野との接点などを紹介する。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6510070A6	確率現象解析学	嶽村 智子	自然科学系	前期 火曜日 7・ 8時限 数学演習 室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、時間と共に変化する現象に対応する確率モデル（白色雑音、保険数学、数理ファイナンス等）について概説する。これらの確率モデルを理解するために必要な確率解析学の基本事項について解説し、更に確率解析学の最近の研究成果についても解説する。
6510080A6	確率現象解析学 演習	嶽村 智子	自然科学系	後期 木曜日 5・ 6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	The course is designed for zPh.D. students of Department of Mathematics and Physics of Fundamental Structures. We treat specific Examples of Stochastic differential equations (population growth model with white noise, Black and Scholes formula, and some recent Stochastic models).
6510110A6	微分幾何学	片桐 民陽	自然科学系	前期 月曜日 1・ 2時限 数学演習 室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	幾何学的トポロジーの手法を用いたグラフ多項式についての研究に関する講義を行う。
6510120B6	微分幾何学演習	片桐 民陽	自然科学系	後期 月曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	幾何学的トポロジーの手法を用いたグラフ多項式の研究に関する具体的な計算方法についての演習を行う。
6510150A6	相互作用系の数 学特論	篠田 正人	自然科学系	前期 火曜日 3・ 4時限 数学演習 室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	The aim of this lecture is to introduce fundamental probabilistic models of interacting particle systems, such as hydrodynamics in statistical physics and contact processes in biology. We explain how to analyse these random phenomena by using of the law of large numbers and the central limit theorem, and show probabilistic approaches to derive differential equations which govern macroscopic systems.
6510160B6	相互作用系の数 学特論演習	篠田 正人	自然科学系	後期 火曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This is an advanced course on "Mathematics on interacting particle systems". The aim of this course is to help students to acquire the methods of analyzing stochastic models, for example, lattice gas model, percolation and Ising model, and deriving differential equations which govern macroscopic systems.
6510170A6	調和解析学	森藤 紳哉	自然科学系	前期 金曜日 5・ 6時限 数学演習 室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	調和解析学は数学の一分野であるだけでなく、幅広い応用を持っている。調和解析学の重要な考え方の一つは、周波数空間を二進的に捉えることによって与えられる関数の分解を考えることである。この分解を用いて関数の大きさが与えられる。先ず、これをリトルウッド・ペーリー理論を通して講義する。次いで、この理論が関数空間論やウェーブレット理論にどのように使われるかを講義する。考える関数空間はベゾフ空間やトリーベル・リゾルキン空間にまで及ぶ。最後に、カルデロン・ジグムント作用素や擬微分作用素などの作用素に対する解析を行う。
6510180B6	調和解析学演習	森藤 紳哉	自然科学系	後期 金曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Exercises for deeper understanding of Harmonic Analysis. (「調和解析学」の講義内容をより深く理解するための演習を行う。)
6510190A6	中間エネルギー核 反応論	比連崎 悟	自然科学系	前期 月曜日 3・ 4時限 新B12 07	講義	1年次以上	2時間	2単位	原子核物理学を専門とする者を対象とする。強い相互作用をする中間子や重粒子の構造や性質、相互作用について講義する。教員自身の研究内容を含めた最新の研究成果や論文を資料としてセミナーや輪講を行う。輪講等を通じて、中間子や重粒子から出来る多様な複合粒子及び物質に付いても考察し、これらの研究に必要な中間エネルギー領域での原子核反応についても説明する。
6510200B6	中間エネルギー核 反応論演習	比連崎 悟	自然科学系	後期 月曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	原子核物理学を専門とする者を対象にする。強い相互作用をする中間子や重粒子の構造や性質・相互作用について、また中間子や重粒子から出来る多様な複合粒子及び物質についてセミナー、演習を行う。これらの研究に必要な中間エネルギー領域での原子核反応に付いても演習する。教員自身の研究内容を含めた最新の研究成果や論文を取り上げ輪講も行う。
6510210A6	ハドロン物理学	永廣 秀子	自然科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 C133	講義	1年次以上	2時間	2単位	強い相互作用をする粒子・ハドロンの性質を理解することを目的として、最新の研究論文の紹介や、セミナー及び輪講を行う。この講義を通して、ハドロンの多彩な性質や、その質量の起源など、最新の研究テーマについて考察を行う。
6510220B6	ハドロン物理学演 習	永廣 秀子	自然科学系	後期 水曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	強い相互作用をする粒子・ハドロンの性質を理解することを目的として、最新の研究論文の紹介や、セミナー及び輪講を行う。この講義を通して、ハドロンの多彩な性質や、その質量の起源など、最新の研究テーマについて考察を行う。
6510230A6	リー群の構造と幾 何学	松澤 淳一	自然科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 数学演習 室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	半単純リー環の構造と幾何について概説する。特に、冪零軌道の幾何学と特異点についてのBrieskorn-Slodowy 理論を解説する。さらに、これらの枠組みと、代数曲面の幾何との関係についても、最近の研究成果を交えながら解説したい。
6510240A6	リー群の構造と幾 何学演習	松澤 淳一	自然科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	半単純リー環の構造と幾何について、特に、冪零軌道の幾何学と特異点についてのBrieskorn-Slodowy 理論をより具体的に理解するための演習をする。 This course provide the students with excercises on the geometry of semisimple Lie groups, especially the geometry of nilpotent orbits and singularities.
6510270A6	微細構造計測学	宮林 謙吉	自然科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 C215	講義	1年次以上	2時間	2単位	物質の究極の構成要素である素粒子について、標準理論とそれを越える新原理・新粒子を含む模型を紹介しつつ講義する。また、最先端の装置を用いて行なわれている測定のをいくつか挙げ、その概要を説明する。これにより、素粒子物理学に関する幅の広い知見を得ることを目標とする。
6510280B6	微細構造計測学 演習	宮林 謙吉	自然科学系	後期 水曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Having exercise to train abilities for experimental research of elementary particle physics: reading papers in the round lecture style, calculating key observable and estimating feasibility of new experiments.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6510310A6	幾何的位相構造論	小林 毅	自然科学系	後期 月曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、自然・社会現象を把握するために重要な手段となる、幾何学について特に結び目や三次元多様体などを研究対象とする低次元位相幾何学の話題を通して理解を深める。結び目や、三次元多様体を表示する様々な手法やそこから導かれる数学的概念、不変量などについて述べることにより幾何学的な思考方法の基礎について解説する。
6510320B6	幾何的位相構造論演習	小林 毅	自然科学系	前期 月曜日 5・6時限 数学演習室 (C431)	演習	1年次以上	2時間	2単位	In this class, the students learn how to represent knots and 3-dimensional manifolds, and learn about relevant mathematical concepts, and invariant. They will obtain the sense to solve concrete geometric problems through such learning.
6510330A6	解析数論	梅垣 由美子	自然科学系	前期 水曜日 5・6時限 数学演習室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	リーマンゼータ関数やディリクレ関数についての解析的な性質が整数論とどのように関わるかを、素数定理や算術級数中の素数定理の証明の詳細を追うことによって理解する。更に、解析数論において必要となる複素解析の諸定理や基本的手法を習得し、その有効性を理解する。それと同時に既存の手法や発想の限界を知ることにより、未解決問題への理解も深める。また、これらの拡張として、様々なゼータ関数やL関数と整数論の諸問題について、解析的なアプローチに関する知識を身につける。
6510340B6	解析数論演習	梅垣 由美子	自然科学系	後期 月曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	整数論における様々なゼータ関数やL関数について、それらが諸問題にどのようにかかわっているかを理解し、解析的な手法でそれらの問題に取り組むための技術を身につける。解析数論の研究で基本的に使われている定理や計算技術を習得し、論文を検証することによって応用力を身につける。更に関連する論文や文献を読み、様々な角度からの視点を培うことによって、整数論における諸問題への解析数論的アプローチを議論・討論し、確かな技術力と豊かな発想力を身につける。また、受講者のプレゼンを指導し、解析数論に関する知識や理解を促し、問題に取り組む力を培う。
6510350A6	素粒子統一理論	高橋 智彦	自然科学系	前期 木曜日 7・8時限 B1107-A	講義	1年次以上	2時間	2単位	素粒子の四つの相互作用について解説したあと、それらを統一する理論としての超弦理論について講義する。BRS形式に基づいて第一量子化された弦理論を基礎にして、弦理論の非摂動的定式化について考察する。
6510360B6	素粒子統一理論演習	高橋 智彦	自然科学系	後期 木曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	A seminar on grand unified theories and string theories
6510370A6	低次元位相幾何学特論	村井 紘子	自然科学系	前期 木曜日 3・4時限 数学演習室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	Lectures will be given on key topics in low-dimensional topology, such as graph theory and knot theory. First, the basic concept of topology, and the basic definitions related to graph theory are explained. After that, we introduce graph invariants (and knot invariants) that are defined using them, and describe the relationship between those invariants. The latest research results will be introduced, and unsolved problems and future prospects will be described. In addition, we aim to deepen our understanding of contact points and applications with other fields.
6510380A6	低次元位相幾何学特論演習	村井 紘子	自然科学系	後期 火曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	Discuss on the contents learned in the Advanced Lecture on Low Dimensional Topology and deep the understanding of the contents through Exercises.
6510390A6	結び目理論特論	張 娟姫	自然科学系	前期 水曜日 5・6時限 数学演習室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	This is an advanced course on the knot theory. Various topics and front-line researches on the field will be introduced in this course.
6510400A6	結び目理論特論演習	張 娟姫	自然科学系	後期 水曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	This is an advanced course on the knot theory. Various topics and front-line researches on the field will be discussed in this course, and students are supposed to present what they learned on the topics and what may be improved.
6510000F6	博士論文執筆指導	全教員	自然科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主任指導教員から博士論文提出予備資格（予備審査合格とは異なる）の認定を受けた大学院学生に対し、博士論文の完成を目標として研究テーマに関する論文の執筆・作成の計画的指導を指導教員によって行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6520002A6	複合自然構造特論Ⅱ	森藤 紳哉, 吉岡 英生, 山内 茂雄	自然科学系	後期 火曜日 9・10時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	基礎科学的視点と応用科学的視点で深く関わる新しい自然現象、あるいは人間と自然や社会が関わる様々な現象に対し、そのメカニズム及び数理構造について、物理、数学分野を中心にした複数の教員による講義を行う。既存の学問分野の枠に収まらない広い視点からの方法論・発想の修得のために、それぞれの教員が関係する分野の最先端の話題を紹介し、他分野との接点について講義する。
6520070B6	非線型偏微分方程式論	柳沢 卓	自然科学系	前期 水曜日 7・8時限 数学演習室 (C431)	演習	1年次以上	2時間	2単位	流体力学に現れる基本的な非線型偏微分方程式を導入し、その数学的構造を解明する為の解析手法を紹介する。
6520080B6	非線型偏微分方程式論演習	柳沢 卓	自然科学系	後期 水曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「非線型偏微分方程式論」で学んだ内容をより深く理解する為にセミナー形式の演習を行う。
6520150A6	量子凝縮系の物性	吉岡 英生	自然科学系	前期 金曜日 7・8時限 新B1207	講義	1年次以上	2時間	2単位	低次元電子系では、強い量子揺らぎと電子間相互作用の共存によって生じる興味深い現象、並びに新しい概念が存在する。本講義ではそのような物理現象、新概念を紹介するとともに、それらを取り扱う理論的手法を詳説する。
6520160B6	量子凝縮系の物性演習	吉岡 英生	自然科学系	後期 金曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	In this class, we study the recent topics on condensed matter physics, such as quantum spin systems, molecular conductors, graphene and the related materials, and so on through group- discussion with reading text books and/or papers.

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6520190A6	粒子線物理学	石井 邦和	自然科学系	前期 月曜日 1・ 2時限 G105	講義	1年次以上	2時間	2単位	粒子線と様々な物質の相互作用について、主に放射線物理学と原子物理学の観点から解説する。また最新の関連する研究についても紹介する。
6520200B6	粒子線物理学演習	石井 邦和	自然科学系	後期 月曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	粒子線物理学の演習として、関連した文献の輪読を行う。
6520210E6	回折構造物性論	山本 一樹	自然科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 C115	複合	1年次以上	2時間	2単位	回折実験は、X線・電子線・中性子により、結晶構造解析から様々な物性研究に利用されている。本講義では、結晶による回折理論を基礎理論から説明すると共に、歴史的な実験から最先端の実験まで紹介する。X線回折実験では結晶構造解析と電子密度分布解析を説明し、結晶中の結合電子について議論する。また、放射光利用についても説明する。電子線回折では準結晶を中心に原子配置の長距離秩序や短距離秩序が起こす現象を考える。中性子回折では構造のゆらぎや相転移に関する実験を中心に説明する。これらにより、回折実験手法に必要な基礎的事項を身につける。
6520220E6	回折構造物性論演習	山本 一樹	自然科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	複合	1年次以上	2時間	2単位	回折物理学の授業内容をもとに、実際の研究例を、教科書や論文を題材にして講義及び輪講を行なう。
6520270A6	X線天文学特論	山内 茂雄	自然科学系	前期 金曜日 9・ 10時限 C217	講義	1年次以上	2時間	2単位	宇宙物理学、X線天文学の研究を進める上で必要となる知識、スキルを、文献、論文の輪講、紹介、および討論などを通して学ぶ。
6520280B6	X線天文学特論演習	山内 茂雄	自然科学系	後期 金曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「X線天文学特論」に引き続き、宇宙物理学、X線天文学の研究を進める上で必要となる知識、スキルを、文献、論文の輪講、紹介、および討論などを通して学ぶ。
6520290A6	観測的宇宙物理特論	太田 直美	自然科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 C236-1	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、宇宙物理学の研究を遂行するうえで必要となる知識や宇宙観測のための装置開発・データ処理の方法を論文紹介や実習を通じて学ぶ。
6520300B6	観測的宇宙物理特論演習	太田 直美	自然科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「観測的宇宙物理特論」の演習として、関連した論文の輪講や宇宙観測のための装置開発実験やデータ処理の実習を行う。現代の宇宙物理学においては、理論的な宇宙モデルの記述と観測天文学という実験的手法もはや独立なものではなくなってきている。そのため、最先端の宇宙研究について解説も行う。
6520310A6	ソフトマター物理学特論	狐崎 創	自然科学系	前期 火曜日 1・ 2時限 C113	講義	1年次以上	2時間	2単位	熱統計力学及び連続体力学の復習から始めて非平衡統計力学の基礎を解説した後、ソフトマターと総称されて近年研究されている柔らかい物質一般の性質と、それらの系でみられる興味深い現象について解説する。
6520320B6	ソフトマター物理学特論演習	狐崎 創	自然科学系	後期 火曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	ソフトマター物理学特論をもとにその講義内容を発展させ、最近の研究テーマに関連した具体的な現象を取り上げる。熱統計力学、連続体力学とレオロジー、非線形動力学を組み合わせて複雑な物理現象を説明する基本的な方法を身につけることを目標に、受講者の希望を考慮して題材を決める。受講者にはゼミ形式でテキストと論文を読んで内習容を要約して発表してもらったともに、数値計算や解析を必要に応じて行って実践的に研究の仕方が身につくようにする。
6520330A6	保型表現論と代数学	岡崎 武生	自然科学系	前期 木曜日 7・ 8時限 数学演習室 (C431)	講義	1年次以上	2時間	2単位	保型形式, 岩澤予想,ゼータ関数などの研究に関するtopicを話す。
6520340B6	保型表現論と代数学演習	岡崎 武生	自然科学系	後期 木曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Exercise and some review for the lecture.
6520350A6	強相関電子系の物性	土射津 昌久	自然科学系	前期 金曜日 5・ 6時限 新B1207	講義	1年次以上	2時間	2単位	強相関電子系では、電子の運動と電子間相互作用との競合に起因して多彩な電子状態が実現する。本講義では、強相関電子系において実現する電子状態を紹介し、これらの現象とその背景にある物理を理解するための理論的方法を解説する。
6520360B6	強相関電子系の物性演習	土射津 昌久	自然科学系	後期 金曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「強相関電子系の物性」で取り上げた内容について演習を行う。
6520000F6	博士論文執筆指導	全教員	自然科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主指導教員から博士論文提出予備資格（予備審査合格とは異なる）の認定を受けた院生に対し、博士論文の完成を目標として研究テーマに関する論文の執筆・作成の計画的指導を指導教員全員によって行う。 また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
6530010A6	複合情報学特別講義 I	城 和貴,高田 雅美,高須 夫悟,新出 尚之,村松 加奈子,久慈 誠,山下 靖,高橋 智,林田 佐智子	自然科学系	前期 木曜日 7・ 8時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	将来研究者を目指す学生に対し、将来必要となるであろう様々な能力を身につけさせるため、複合情報科学講座の複数教員が分担して、最先端の研究展開の現状を解説すると共に、英語論文の読み方、新しい情報処理技術などの様々なスキルについて講義を行う。 The aim of this course is to help students acquire the skills and knowledge needed to achieve a better performance in their reseach activities in reading a academic journal paper, utilizing a database of literature, and processing data on a computer.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6530020A6	複合情報学特別講義Ⅱ	城 和貴,新出尚之,高田 雅美,高須 夫悟,高橋智,林田 佐智子,久慈 誠,山下靖,村松 加奈子	自然科学系	後期 木曜日 7・8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	将来研究者を目指す学生に対し、将来必要となるであろう様々な能力を身につけさせるため、複合情報科学講座の複数教員が分担して、最先端の研究展開の現状を解説すると共に、英語論文の書き方、研究発表の仕方、新しい情報処理技術などの様々なスキルについて講義を行う。 The aim of this course is to help students acquire the skills and knowledge needed to achieve a better performance in their research activities in writing an academic journal paper, making an oral presentation, and utilizing the most advanced computer tools.
6530030A6	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	高田 雅美	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ハイパフォーマンスコンピューティングに関する最新のいくつかの話題を分野ごとに1回～数回のゼミ形式の授業を行う。内容は受講者の専門によるが、アーキテクチャ、システムソフトウェア、可視化、シミュレーション、性能評価を基本的なものとする。
6530040A6	ハイパフォーマンスコンピューティング特論演習	高田 雅美	自然科学系	後期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	受講者の研究内容に関連するハイパフォーマンスコンピューティングに関する最新のいくつかの話題を分野ごとに1回～数回ゼミ形式で議論する。
6530050A6	ライフコンピューティング特論	城 和貴	自然科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ライフコンピューティングとはSNSやIoTで得られる膨大な個人情報に対し人工知能等の情報処理技術を適用することで生活者を支える仕組みである。本講義ではその概要と基礎技術を学ぶ。
6530060B6	ライフコンピューティング特論演習	城 和貴	自然科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	ライフコンピューティングとはSNSやIoTで得られる膨大な個人情報に対し人工知能等の情報処理技術を適用することで生活者を支える仕組みである。本講義ではその概要と基礎技術を学ぶ。本演習はライフコンピューティング特論を受講した後に行う。
6530090A6	コンピュータトポロジー特論	山下 靖	自然科学系	前期 火曜日 5・6時限 G 4 1 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	低次元トポロジーの研究を行ううえで、コンピュータを積極的に利用した方法の有効性が近年明らかになってきている。この講義では、特に3次元双曲多様体およびクライン群に関する最近の話題を紹介すると共に、これらの研究を進めていく上で有効となるコンピュータを利用した方法について、幾何構造の可視化を中心に講義を行う。
6530100B6	コンピュータトポロジー特論演習	山下 靖	自然科学系	後期 火曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	低次元トポロジーの研究を行ううえで、コンピュータを積極的に利用した方法の有効性が近年明らかになってきている。この講義では、特に3次元双曲多様体およびクライン群に関する最近の話題を紹介すると共に、これらの研究を進めていく上で有効となるコンピュータを利用した方法について、幾何構造の可視化を中心に演習を行う。
6530110A6	数理モデル解析特論	高橋 智	自然科学系	前期 火曜日 3・4時限 G 3 0 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	数理生物学の最近の研究成果や研究手法について解説する。
6530120B6	数理モデル解析特論演習	高橋 智	自然科学系	前期 火曜日 3・4時限 G 3 0 3	演習	1年次以上	2時間	2単位	数理生物学の最近の研究成果についての文献を読む、またはモデルを作成しシミュレーションを行う
6530130A6	数理生物環境動態学特論	高須 夫悟	自然科学系	前期 金曜日 1・2時限 G 3 0 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	数理的手法を用いた生物集団の構造ならびに進化に関する研究について論ずる。構造を持たない集団の個体群動態・進化動態に注目する。 Mathematical and computational approaches to study population and evolutionary dynamics in biology will be introduced and discussed. In this course, we focus on non-spatial population/evolutionary dynamics to study "non structured" populations.
6530140A6	数理生物環境動態学特論演習	高須 夫悟	自然科学系	前期 金曜日 1・2時限 G 3 0 3	講義	1年次以上	2時間	2単位	数理生物学で用いられる様々なモデルを実際に解く演習である。 We learn to implement various mathematical models in biology and carry out and analyze simulation using a computer programming language. We also work on analyses of a large dataset generated from simulation models.
6530150A6	地球大気組成変動特論	林田 佐智子	自然科学系	前期 木曜日 9・10時限 G 3 1 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	近年、人間活動に起因する二酸化炭素などの大気微量成分の増加によって、様々な地球環境の変化が引き起こされている。温室効果気体や粒子状物質などの変化が地球温暖化に与える影響は、それらの濃度変動とともに、大気中の寿命等に依存する。本授業では、近年の大気微量成分の変動とその地球環境影響について、最先端の英語原著論文やIPCCなどの報告書に基づいて学ぶ。
6530160B6	地球大気組成変動特論演習	林田 佐智子	自然科学系	前期 木曜日 9・10時限 G 3 1 4	演習	1年次以上	2時間	2単位	近年、人間活動に起因する大気微量成分の増加によって、様々な地球環境の変化が引き起こされている。本授業では、現場観測された二酸化炭素など大気微量成分の観測データをインターネットなどを通じて取得し、計算機を使って可視化するなどの演習を行う。極域や太平洋上などのバックグラウンド領域と、発生源に近い領域での濃度変動を比較することで、大気微量成分の動態を把握し、発生・輸送・反応過程の役割を理解することを目指す。
6530170A6	陸域自然変動論	村松 加奈子	自然科学系	前期 水曜日 5・6時限 G 3 1 6	講義	1年次以上	2時間	2単位	地球の陸面と大気の相互作用や植生の気候へのフィードバックを解明するためには、陸域における熱収支、水収支、炭素収支や植生の環境緩和能力について、長期間にわたる定量的な把握が必要である。近年では、人工衛星の観測により、全地球規模で陸域の土地被覆変動や植生被覆、植生の活性度、熱環境のモニタリングが行われている。リモートセンシング技術を用いた熱収支、水収支、炭素収支の研究に必要な基礎と、その利用例について教科書・論文を用いて学ぶ。
6530180B6	陸域自然変動論演習	村松 加奈子	自然科学系	前期 水曜日 5・6時限 G 3 1 6	演習	1年次以上	2時間	2単位	陸域における熱収支、水収支、炭素収支や植生の環境緩和能力の、リモートセンシング技術を用いた空間的な定量化を行うためには、リモートセンシング技術の利用方法の基礎理論について深く理解する必要がある。本演習では、光学系リモートセンシング技術の基礎である陸域の被覆物のスペクトルや熱放射の理解に重点をおく。反射スペクトルと熱放射から被覆状態や植生活性度の定量化について、その理論展開、実験方法、解析方法について習得する。

【大学院後期課程 旧課程】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
6530230A6	知識情報システム 特論	新出 尚之	自然科学系	前期 その他 その 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	知的エージェントなど、人間と同様に周囲の状況を判断して振る舞うシステムの実現には、信念の更新、学習、意思決定といったさまざまな要素が密接に関わってくる。本授業では、知識処理という見地から、そのような分野に関するトピックを取り上げ、論じていく。
6530240B6	知識情報システム 特論演習	新出 尚之	自然科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	知的エージェントなど、人間と同様に周囲の状況を判断して振る舞うシステムの実現には、信念の更新、学習、意思決定といったさまざまな要素が密接に関わってくる。本授業では、知識処理という見地から、前期の「知識情報システム特論」で扱ったトピックを中心とした内容に関する演習を行う。
6530250A6	大気放射伝達特 論	久慈 誠	自然科学系	前期 月曜日 7・ 8時限 G 3 1 5	講義	1年次以上	2時間	2単位	This course introduces atmospheric radiation to students taking this course.
6530260B6	大気放射伝達特 論演習	久慈 誠	自然科学系	前期 月曜日 7・ 8時限 G 3 1 5	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course deals with the basis of atmospheric radiation. It also enhances the development of students' skill in carrying out data analyses.
6530000F6	博士論文執筆指 導	全教員	自然科学系	その他 その他 その 他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	主指導教員から博士論文提出予備資格（予備審査合格とは異なる）の認定を受けた院生に対し、博士論文の完成を目標として研究テーマに関する論文の執筆・作成の計画的指導を指導教員全員によって行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。